

# 北陸物語

福井・石川・富山を彩る5つの物語と11の広域観光モデルコース vol.01



信仰が息づく暮らし

伝統産業が息づく古き町

戦国乱世を強く生きた姫たち

北陸の暮らしに根づく奇祭

自然と人が織りなす心象的な雪景色

北陸経済連合会  
北陸イメージアップ推進会議

## 北陸物語

[vol.01]

— 目次 —

「北陸物語」の発刊について 02

### 第一章 伝統産業が息づく古き町 04

モデルコース① 今に受け継がれる北陸の伝統工芸・伝統文化を堪能 08

モデルコース② 北陸の歴史あるものづくりを体験! 12

モデルコース③ 地域に根づくものづくり産業を家族みんなで学ぶ旅 16

### 第二章 戦国乱世を強く生きた姫たち 20

モデルコース① 戦国の姫たちの暮らしを偲ぶ 24

モデルコース② 大河ドラマ「江～姫たちの戦国～」、「利家とまつ」ゆかりの地を巡る 28

### 第三章 信仰が息づく暮らし 32

モデルコース① 信仰が息づく暮らしを肌で感じる 36

モデルコース② 生活にとけこんだ仏教行事に楽しみながら親しむ 40

### 第四章 自然と人が織りなす心象的な雪景色 44

モデルコース① 雪景色の自然と戯れる雪国ならではの休日を満喫! 48

モデルコース② めったに出あえない感動の冬景色を撮る 52

### 第五章 北陸の暮らしに根づく奇祭 56

モデルコース① 田の神まつり「あえのこと」と能登の文化にふれる 60

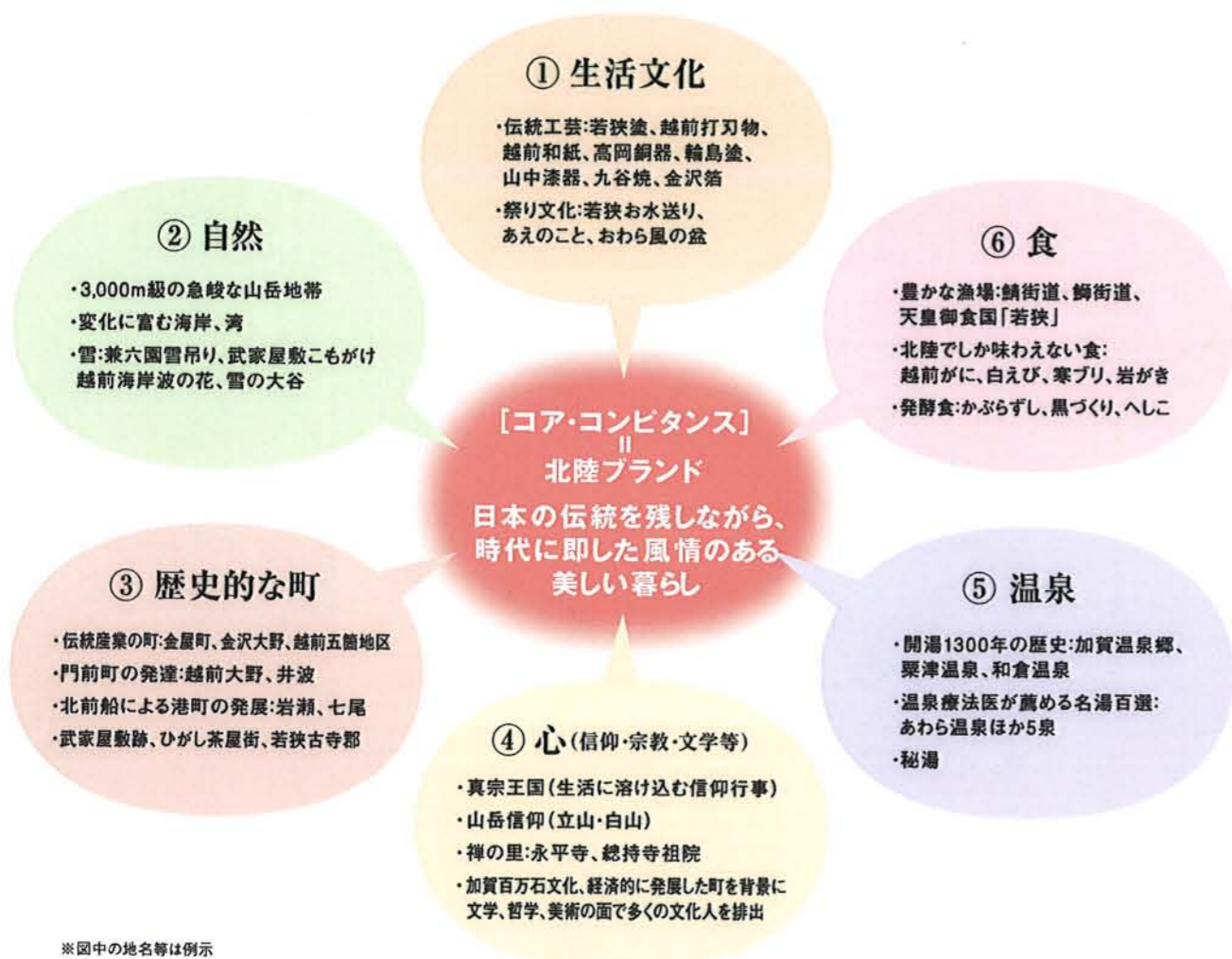
モデルコース② 無病息災を祈願する「すりばちやいと」と神秘の祭り「お水送り」 64

## 「北陸物語」の発刊について

北陸経済連合会では、これまで、観光戦略セミナーの開催や国の観光戦略策定への参画等を通じ、北陸三県の広域観光の推進を図ってまいりました。観光産業は、経済波及効果、雇用創出の面から、少子高齢化時代における地域活性化の切り札として、「新成長戦略」の中でも重点分野に位置づけられています。

このような中、平成26年度の北陸新幹線の金沢開業は、北陸の観光が注目される絶好の機会であり、地域をあげた取組みが求められることから、当会では、北陸三県の連携による広域観光を強力に推進するために、平成22年10月、三県の産学官のメンバーによる「北陸広域観光検討ワーキング」を設置しました。

本ワーキングでは、北陸の認知度向上に向けた戦略的な情報発信、広域観光推進体制のあり方等を検討していますが、このほど北陸のコア・コンピタンス(誘客の強み)と北陸ブランドの整理を行うとともに、北陸三県連携による戦略的PRのツールとしての「北陸物語」をとりまとめました。



## (1)北陸の「コア・コンピタンス」・「北陸ブランド」

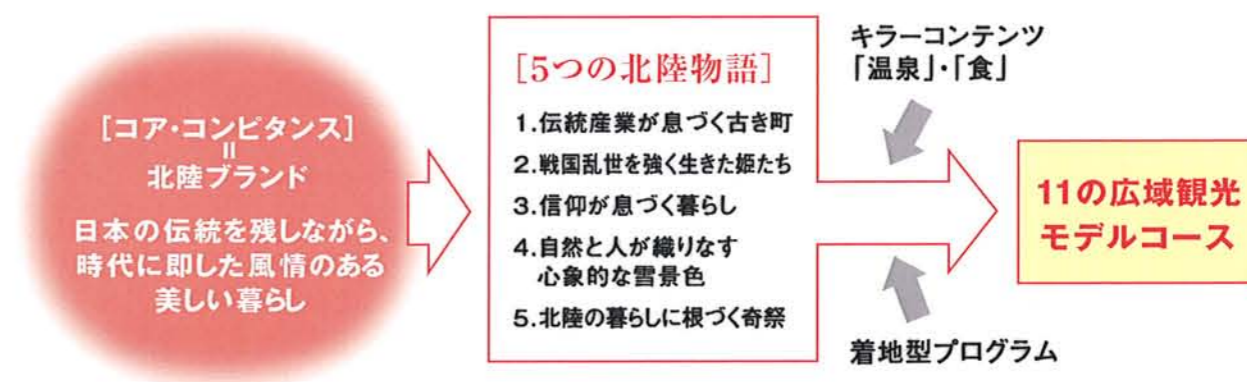
北陸三県に共通する自然や歴史、生活文化、食等の資源を整理・評価した上で、北陸ならではのコア・コンピタンスを抽出したところ、「日本の伝統を残しながら、時代に即した風情のある美しい暮らし」が北陸の誘客の強みであり、他地域にはない北陸の魅力であるとの結論を得ました。今後、北陸らしさを象徴する統一イメージ、北陸ブランドとして活用、定着を図ってまいりたいと考えています。

## (2)「北陸物語」と「広域観光モデルコース」

「北陸物語」は旅行者の興味・関心を高めるために、北陸三県の様々な地域資源について、コア・コンピタンスを効果的に伝える5つの切り口で整理し、北陸の魅力を紹介する物語として編集したもので、今回が第一弾となります。

そして、今回制作した5つの北陸物語の魅力を旅行者に体感・体験していただける具体的な11の広域観光モデルコースを設定しました。コース選定にあたっては以下のポイントを考えています。

- ① 各北陸物語を、北陸三県を巡る広域ルートに具体化
- ② キラーコンテンツ(最重要要素)の「温泉」・「食」を全コースに盛り込む
- ③ 「地元とふれあえる」、「現地の人・もの・暮らしを経験・実感する」着地型プログラムを入れ、北陸ならではの特色を出す
- ④ ターゲット(訴求層)を定めてコースを選定
- ⑤ 集客力の高い既存の有名観光地を盛り込む



観光産業に従事する皆さまが北陸に関する旅行商品を企画される際に、本書を参考資料としてご活用いただければ幸いです。本書を通じて北陸広域観光への関心が高まり、多くの方が北陸に訪れることを期待しています。

## 第一章

## 伝統産業が息づく古き町



富山・金屋町の風景

北陸には古き良き姿を残しながら、その場所を支えた伝統産業も受け継がれている町があります。一例として、富山県高岡市金屋、石川県金沢市大野、福井県越前市旧今立町エリアが挙げられます。いずれも「レトロ」な風景が残っていることに加えて、今も続く伝統文化・産業で発達した町です。金屋は「鋳物」、大野は「醤油」、今立は「和紙」。それぞれの産業の間には何のかかわりもないものの、その落ち着いた風情と職人氣質は似通っているといえるでしょう。

それぞれのエリアの歴史と特徴について説明します。

## 世界に誇る銅器の職人街の風情が今も残る

高岡の金屋は鋳物の街として有名で、今では高岡は世界に誇れる銅器の一大産地として知られています。その歴史は非常に古く、約400年前にさかのぼります。加賀二代藩主・前田利長が隠居し、慶長14年(1609)から高岡を開町、その翌々年に7人の鋳物師を金屋町に移住させたことから、その歴史は始まります。彼らは諸役を免除される特権を与えられ、鍋や釜の日用品、鋤や鋤の農耕具といった鉄鋳物を生産し続け、加賀藩の庇護も受けたことから全国でも最大規模の鋳物師集団となりました。

銅器生産が始まったのは江戸時代中期の宝暦・明和年間(1751~72)ごろ。釣鐘や仏像など

仏具の製造を皮切りに銅器・鉄器の製造が盛んになり、江戸時代後期には全国的な販路を獲得しました。さらに明治期に入り加賀藩の庇護や諸役免除がなくなっても、その確かな技術力をもとに銅器を中心として火鉢や置物などの生活用品も製造、それらが海外の博覧会に出展され「高岡銅器」として世界的な知名度を得るまでに発展。現在に至っても銅器の国内生産額の9割近くを占めている、富山県を代表する伝統工芸です。さらに、奈良、鎌倉と並んで日本三大仏のひとつに挙げられることもある高岡大仏は木造だったため幾度となく焼失する憂き目に遭いますが、昭和7年(1932)に高岡銅器の職人が再建、今にその姿を残しています。

この高岡銅器を代表する職人街として発展してきた金屋町は、現在も昔ながらの姿を残すエリアです。「さまのこ」と呼ばれる千本格子がある家々と石畳というレトロな町並みが500m近く続きます。また、石畳に銅片が埋められたり、軒に張り出した桁に銅板が使われたりと、この町ならではの



高岡銅器の制作風景



高岡銅器の作品例

はの特徴が垣間見えます。今は銅器製造元の直営店に加えて飲食店などもあり、散策が楽しめます。

かつてはこの家々で家内工業として鋳物がつくられていましたが、現在では多くの銅器職人は別の場所に工房を構えています。それでも「鋳物の町」としての風情が残り、平成19年には通りの一角に高岡市鋳物資料館が開館するなど歴史の伝承にも努めています。往時を彷彿とさせる町並みを散策しながら、いろんなお店も覗いてみてはいかがでしょうか。

## 古き町家・蔵が残り、醤油と潮の香りただよう港町

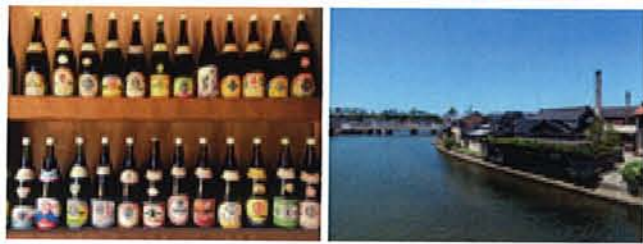
石川県の金沢にも、伝統と産業が同居する町があります。中心部から車で20分ほど離れた大野です。海沿いにあり、金沢港にほど近いこの町は、醤油の製造が盛んな場所として知られています。大野醤油の特徴は「うまうち」と呼ばれる味。甘口ながら、うまみもしっかりそなえており、素材の持ち味を活かしてくれます。この醤油が、金沢の食を陰で支え、ひいては加賀料理の誕生に貢献したといえるかもしれません。



大野の街並み



改装されギャラリーカフェになっている古いしょう油蔵



大野の醤油(左)。海のすぐそばにある大野の町(右)

その歴史は江戸時代、約400年前に始まりました。加賀三代藩主・前田利常に醤油づくりを命じられた大野の町人・直江屋伊兵衛が、醤油の産地(場所は諸説あり)で修行し製造技術を習得、金沢に戻ってからそれを広めたとされています。以来醤油の一大産地として発展し、伊兵衛直系の子孫が開いた蔵をはじめ、江戸時代後期には60軒近くの醤油商があり、領内に販路を持っていたそうです。現在に至るまで醤油製造は続き、今も30軒近くの蔵があります。そしていくつかの蔵は直販店を運営、店頭で醤油の味見もできます。

この大野には木むすこ組(格子戸の別称)が取り入れられた港町の町家が残し、今も改修されながらその姿を維持し続けています。そして使われなくなった蔵も取り壊されることなく、飲食店などに活用されています。その中には地元の商工振興会が運営しているギャラリーカフェもあり、なんとそこでは「しょうゆソフトクリーム」をいただくことができます。その名の通り醤油が練り込まれたソフトクリームで、まるでキャラメルのような風味で人気があります。大野を訪れた際には、ぜひ味わいたい逸品です。

このように、大野の町は伝統を継承しながらも時代に合わせた取り組みを行い、往時の味と姿を今に残しています。潮と醤油の香りが混ざるレトロな港町を、ぜひ歩いてみてください。

### “日本一の紙”越前和紙をはぐくんだ町

そして福井の伝統文化が息づく古き町の代表は、越前市にあります。美濃、土佐と並んで「日本三大和紙」のひとつに数えられる越前和紙。旧今立町(現越前市)がその産地として知られています。この和紙は約1500年前、今立の岡太川の上流に美女が現れ、村人に紙すきを教えたという伝承があります。その後この美女は「川上御前」と呼ばれ、岡太神社にまつられるようになったという話が伝わるものの、正確な紙すきの発祥ははっきりとはしていません。それでも鎌倉時代には、現在の組合にあたる紙座が大滝寺の保護のもと結成され、織田信長によって同寺が廃されたあとも歴代権力者によって守られてきました。江戸時代には福井藩が全国に先駆けて幕府に製造許可をもらった藩札も越前和紙だったといわれるほか、江戸時代後期の経済学者・佐藤信淵が著書「経済要録」で「凡貴重なる紙を出すは、越前五箇村を以て日本第一とす」と記しているように、“日本一の紙”として知られました。近代に入っても横山大観を始めとした多くの芸術家たちに強く支持されるなど、一流を知る人たちに愛好され続けてきました。

この伝統の技術は着々と受け継がれ、現代に至っても製造業者の数は手すき50・機械すき24・その他の加工業者26、生産額90億円という規模を誇っています。そして手すき和紙の生産量も種類の多さも日本一。今も昔も「和紙の里」であり続けています。

見どころは「五箇地区」と呼ばれるエリア。高級手すき和紙の製造業者の家々が立ち並び、昔ながらの風情を残しています。しかもその多くが、今も手すき和紙の工房として稼働しています。平成18年には「次世代に継承すべき美しい日本の歴史的風土が良好に保存されている地域」として、「美しい日本の歴史的風土100選」(財団法人古都保存財団主催)に選ばれました。

そしてこの五箇地区から徒歩15分の距離にある「越前和紙の里」は、和紙づくりが見学できる施設「卯立の工芸館」や和紙づくり体験ができる工房「パピルス館」、越前和紙の歴史を紹介した「紙の文化博物館」などがある複合施設で、越前和紙の奥深さに触れることができます。もちろん和紙製品や和紙の購入も可能です。

さらに春と秋には、無形民俗文化財「神と紙の祭り」が開かれます。誰でも見学でき、紙能舞と紙神楽等の伝統芸能が奉納されるほか、今立のシンボルロードである「和紙の里通り」でさまざまなイベントが実施されます。

その確かな技術を現代に伝え、維持し続けている越前和紙。今立ではそのすばらしさに触れられる施設・イベントもあり、古きよき町並みの散策も楽しめます。

### 北陸の伝統を残す町で文化と風景を楽しむ

これらの地域は歴代権力者に守られ、その伝統の技を伝えてきました。それらの庇護があったとはいえ、確固たる技術力とそれを着実に継承し続ける“北陸人氣質”があったからこそ、今も伝統を守り産業として存続し続け、町並みもかつての姿を残しているといえるかもしれません。それは、都市化が進みきっておらず、伝統文化が残る北陸の特色といえるのではないのでしょうか。そしてこれら3つの町以外にも、歴史あり文化が伝わる町がたくさんあるのです。

北陸ならではの「伝統文化が息づく古き町」を、ぜひ訪れてみませんか。



越前和紙の里では和紙の制作体験も可能(左)。今も愛される越前和紙(右上)。古きよき町並みが残る今立(右下)





モデルコース①  
今に受け継がれる北陸の  
伝統工芸・伝統文化を堪能

古くから伝わるものづくり技術に関心の高いシニア夫婦に、昔ながらの古い町の中で、今も受け継がれているものづくり、文化を体験していただくコースです。

日程	行程	食	宿泊先
1日目 富山	(JR高岡駅から徒歩15分) 着地型 地元ガイドと散策する金屋町、山町筋 [OP] 干支の文鎮の製作体験 [OP] 錫製のミニ水盤(花器)製作体験 (JR高岡駅→約30分→JR氷見駅)	氷見カレー(昼) or 寒ブリづくし(冬季)	氷見温泉郷
2日目 石川	[OP] 定置網見学・早朝魚市場見学、魚市場朝食 (JR氷見駅→約30分→JR高岡駅→約25分(特急)→JR金沢駅) (JR金沢駅からバスで約30分) 着地型 地元ガイドと散策する大野 [OP] 味噌汁作り体験・味噌蔵見学 [OP] 能楽体験 [OP] 金沢ライトアップバス(土曜日運行)	加賀鮎 コース料理	金沢市内 ホテル
3日目 福井	(JR金沢駅→約60分(特急)→JR武生駅)+(JR武生駅からバスで約25分) 越前市五箇地区の町並みを散策 [OP] 紙漉き体験 和紙によるハガキ・うちわ・シェードランプ等製作 [OP] ペーパーナイフ教室 [OP] 越前焼体験 [OP] 越前漆器見学 または 越前打刃物通り・タンス町・蔵の辻 散策 (JR武生駅→帰路)	おろしそば(昼)	—

※[OP]はオプションプランの略です。

着地型 地元ガイドと散策する金屋町(千本格子の町並み)、山町筋(土蔵造りの町並み)

内容	地元ボランティアガイド*と金屋町、山町筋を歩く
所要時間	約120分
参加費	ガイド料金/無料 利用者負担/ガイドの交通費1,000円、昼食代
申込み	高岡市観光協会 ☎0766-20-1547 観光ボランティアグループ「あいの風」

《イチ押しポイント》

- ◆約500mにわたって続く石畳の道と千本格子の古い町並み
- ◆「御印祭」(毎年6月1日と20日)。鋳物師の心意気を歌と踊りで表現したといわれる「弥栄節街流し」が見所
- ◆山町筋の菅野家(国指定重要文化財)。外観は黒漆喰仕上げで太い出桁で軒を支え、2階の窓に観音開きの土戸を備えるなど全体的に重厚なデザイン。一方、大棟、防火壁正面の石柱、正面庇の天井飾りや軒を支える鋳物の支柱などには、要所に細かな装飾が施され華やかな印象を与える。



金屋町(千本格子の町並み)



山町筋 菅野家(国指定重要文化財)

※このコース以外にも、高岡市万葉歴史館を巡る万葉坂エリアコースなどがあります。

着地型 地元ガイドと散策する大野

内容	金沢観光ボランティアガイドの会「まいどさん」の案内で、大野からくり記念館としょう油のふる里大野を散策します。(コース/大野からくり記念館(入館)→しょう油蔵→旧庄町通り→大野日吉神社(解散)距離約2.5km)
所要時間	約120分(徒歩約70分+見学時間)
参加費	300円(大野からくり記念館入館料付き)
申込み	金沢市観光協会 ☎076-232-5555 平日9~16時(土・日・祝日除く)



大野からくり記念館

しょう油蔵



大野からくり記念館

しょう油蔵

大野日吉神社

ヤマト・ひしほ蔵

石川県金沢市

銭屋五兵衛記念館

見どころ紹介【1日目】

OP 干支の文鎮の製作体験  
(富山県高岡市)



岡物工房利三郎  
☎0766-24-0852※要予約  
◎所要時間/約60分  
◎体験料金/3,000円  
※文鎮はご希望の絵柄でも製作可能です。また風鈴の物作り体験も可能です。

OP 錫製のミニ水盤(花器)製作体験  
(富山県高岡市)

岡高岡地域地産産業センター ☎0766-25-8283  
◎所要時間/約2時間 ◎体験料金/2,300円



見どころ紹介【2日目】

OP 定置網見学・早朝魚市場見学、魚市場朝食  
(富山県氷見市)



〈定置網漁・早朝魚市場見学〉  
富山湾観光船 ☎0766-74-5346※要予約  
◎所要時間/約2時間30分 ◎団体料金/41,000円(船1艘貸切り)、個人料金/2,500円(10人～、土曜は1人～可)  
〈魚市場朝食〉  
氷見魚市場食堂 海寶(かいほう) ☎0766-74-0733

OP 味噌汁作り体験・味噌蔵見学  
(石川県金沢市)

岡ヤマト醤油味噌 ☎076-268-1248※要予約  
◎所要時間/約1時間30分  
◎体験料金/15～20名で6,300円



OP 能楽体験  
(石川県金沢市)

岡金沢能楽美術館 ☎076-220-2790※要予約  
◎所要時間/約60分  
◎体験料金/1,000円



ピックアップ! 北陸の温泉

氷見温泉郷 (富山県氷見市)

富山県北西部に位置する氷見温泉郷は、火山爆発により海水が閉じ込められてきた温泉。そのためお湯が塩辛いのが特徴で、その泉質は「お肌がつるつるになる」「美人になれる湯」と言われ、特に女性客に人気があります。市内沿岸部には20軒を超える旅館・民宿が点在し、その中には露天風呂から立山連峰が一望できる宿もあり、温泉につかりながら立山の神秘的な風景を楽しむことができます。 氷見市観光協会 ☎0766-74-5250

見どころ紹介【3日目】

越前市五箇地区の町並みを散策  
(福井県越前市)

和紙の里として現在まで伝統が継承され続けている越前市五箇地区。ここには和紙づくりを支えてきた古くからの町並みや、歴史を偲ばせる史跡が多く残されており「美しい日本の歴史風土100選」にも選ばれています。和紙の里の風情を感じながらの散策で、ゆったりとした時間を過ごすことができます。



全国唯一の紙祖神を祀る岡太神社・大滝神社



五箇地区の町並み

OP 紙漉き体験、和紙によるハガキ・うちわ・シェードランプ等製作  
(福井県越前市)



和紙の制作体験



今も愛される越前和紙

岡越前和紙の里 ☎0778-42-1363※予約不要  
◎所要時間/約20～40分 ◎体験料金/500円～



ピックアップ! 北陸の食

氷見カレー  
(富山県氷見市)



氷見カレーとは「氷見産煮干し」を使用したオリジナルのカレーのことで、市内にある各々の飲食店で独自のメニューを提供しています。カレーライスをはじめ、カレーパン、うどん、ラーメン、鍋など種類が豊富。食べられるお店は、氷見カレー学会加盟店の「氷見カレー」ののぼり旗が目印です。

岡氷見商工会議所 ☎0766-74-1200

加賀麩コース料理  
(石川県金沢市)



金沢を代表する食文化のひとつ加賀麩。藩政期から保存食として愛用され、現在は治部煮など加賀料理には欠かせない食材になっています。金沢市内の麩専門店では、四季折々の加賀麩会席を堪能することができます。

岡不室屋 ☎076-224-2886  
※掲載の料理内容は時期により変更になります

おろしそば  
(福井県嶺北)



冷たいそばにピリッと辛い大根おろしとつゆをかけて食べる、福井県の定番グルメ「越前おろしそば」。おろしそばは越前市が発祥の地で、市内にはそば屋が数多くあり、各店こだわりのおろしそばが味わえます。冷たいそばは夏だけでなく、冬でも一般的に食べられます。



手作りの工芸品がお好きな女性におすすめしたいコースです。北陸には、他の地域にはない、独自のものづくり文化があります。初めての方でも気軽に体験できます

石川県と富山県の一部に伝わる風習「花嫁のれん」。昨年連続ドラマのタイトルにもなったこの風習は、嫁入りの時に嫁が持参し、嫁ぎ先の仏間の入口に掛け、くぐるという儀式に使われます。



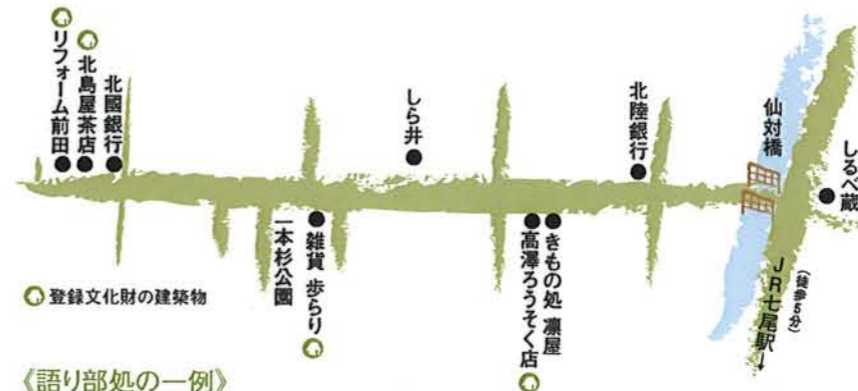
日程	行程	食	宿泊先
1日目 石川	(JR金沢駅→約50分(特急)→JR七尾駅) 着地型 七尾 一本杉通り散策(語り部処のある町) [OP] 花嫁のれん展 [OP] 角偉三郎美術館・辻口博啓美術館	ル ミュゼドウ アッシュ 辻口博啓美術館	和倉温泉
2日目 石川	(JR和倉温泉駅→約60分(特急)→JR金沢駅) [OP] 車の場合 能登ドライブ「ヤセの断崖」「千里浜なぎさドライブウェイ」 (城下まち金沢周遊バス ※12分間隔で運行 一日乗り放題:大人500円) 水引体験 または 和菓子づくり体験 or 金沢・クラフト広坂(加賀毛針、加賀織) or 中村記念美術館(加賀蒔絵、加賀象嵌、茶道美術) (JR金沢駅→約30分(特急)→JR加賀温泉駅) [OP] 山代温泉 古総湯	金沢カレー or ハントンライス (昼)	山代温泉
3日目 福井	(JR加賀温泉駅→約30分(特急)→JR鯖江駅またはJR武生駅) 越前和紙の里 紙すき体験 (JR武生駅からバスで約20分) または めがねミュージアム めがねづくり教室 (JR鯖江駅徒歩約10分) (JR鯖江駅またはJR武生駅→帰路)	ボルガライス or おろしそば	—

※[OP]はオプションプランの略です。 ※このコースは電車利用です(一部自動車)

着地型 七尾 一本杉通り散策(語り部処のある町)

内容 古い町家が残る一本杉通り。通りに並ぶ店13軒が「語り部処」となっており、見るだけでなく七尾の歴史を語り部から聞くことができます。七尾の魅力を感じられる「ふれあい観光」です。

所要時間 1時間半～半日 ※参加費は無料。事前の申込みが必要です。 問い合わせるべき 0767-52-1231



《語り部処の一例》

高澤ろうそく店



明治創業、県内唯一の和ろうそく専門店。和ろうそくの歴史について解説してもらえます。

北島屋茶店



お抹茶挽きの体験ができ、挽きたての抹茶は格別。七尾名物・大豆飴(まめあめ)もいただけます。

見どころ紹介【1日目】

[OP] 花嫁のれん展 (石川県七尾市)

毎年4月29日から連休明けにかけて、一本杉通りの店先に130枚近い花嫁のれんが飾られます。色鮮やかで美しい、明治期から現代までののれんが通りを彩ります。 関七尾市観光交流課 0767-53-8424



角偉三郎美術館(左)・辻口博啓美術館(右)

[OP] 角偉三郎美術館・辻口博啓美術館 (石川県七尾市)

輪島塗を基調に独自のな器をつくった輪島出身の角偉三郎。そして七尾出身で数々の有名店を手がけるパティシエ・辻口博啓の「技」に迫った美術館です。 関角偉三郎美術館 0767-62-4000

見どころ紹介【2日目】



**水引体験教室**  
(石川県金沢市)

国内唯一の水引専門店。「加賀水引」と呼ばれる金沢独自の水引を手がけ続ける老舗です。同店では、不定期で水引作家の指導のもと体験教室を開催しています。かわいらしく繊細な水引細工をつくってみてください。  
〒津田水引折型 ☎076-224-9023  
(写真は平成22年に実施されたものです)

**和菓子づくり体験**  
(石川県金沢市)

和菓子処・金沢ではおいしい和菓子が簡単に手に入るだけでなく、自らつくる体験もできます。定期的に開かれ、和菓子職人が指導してくれるので安心。つくった和菓子は持ち帰れます。  
〒石川県観光物産館 ☎076-222-7788



**金沢・クラフト広坂**  
(石川県金沢市)

金沢の希少伝統工芸の逸品を展示・販売する店。現代風にアレンジされた手頃な品もあり人気です。  
〒金沢・クラフト広坂 ☎076-265-3320



**金沢市立中村記念美術館**  
(石川県金沢市)

加賀蒔絵や加賀象嵌などの一流品を展示しています。茶器のコレクションも見事。  
〒金沢市立中村記念美術館 ☎076-221-0751

**OP 山代温泉 古総湯** (石川県加賀市)

加賀温泉郷のひとつ、山代温泉。1300年の歴史を持つ温泉地に、昨年「古総湯」が誕生しました。明治時代の総湯を復元、外観や内装の床、壁の九谷焼タイルも往時を再現しています。  
〒山代温泉 古総湯 ☎0761-76-0144



見どころ紹介【3日目】

**越前和紙の里** (福井県越前市)

1500年の歴史を持つ越前和紙の素晴らしさにふれられる複合施設。和紙づくりが体験できる「パピルス館」で、紙すきに挑戦してみてください。「卯立の工芸館」では製造工程が見学できます。  
〒越前和紙の里 ☎0778-42-1363



**めがねミュージアム** (福井県鯖江市)

国産めがねフレームの9割以上のシェアを持つ福井県。その技術力・歴史を解説する同館では、めがね職人指導のもとめがねフレームの手づくり体験ができます(要予約)。  
〒めがねミュージアム ☎0778-42-8311

ピックアップ! 北陸の食

**ル ミュゼドウ アッシュ**  
(石川県七尾市)

辻口博啓美術館に併設されたカフェ・ブラスリー。新鮮な能登の素材を活かした、ここオリジナルの極上のスイーツを味わえます。テイクアウトも可能。焼き菓子やパンもあります。  
〒角角三郎美術館 ☎0767-62-4000



**金沢カレー**  
(石川県金沢市近郊)

金沢を代表する“B級グルメ”。味の濃いカレーの上にカツが乗せられ、端に千切りキャベツを添え、フォークで食べる逸品。トッピングはエビフライなどもあります。ボリューム満点の一皿です。

**ボルガライス**  
(福井県越前市)

カツに乗ったオムライスの上に、旨味たっぷりのドミグラスソースをたっぷりかけた洋食。提供店は越前市内に8店あり、それぞれ味が微妙に違います。その名前の由来は分かっていないそうです。



ピックアップ! 北陸の温泉



**和倉温泉** (石川県七尾市)

美しい七尾湾に面した、1200年近い歴史がある温泉街。温泉旅館が数多く、宿泊が断然おすすめ。今年4月には誰でも入れる共同浴場「総湯」がリニューアルオープンします。真冬の大きな花火も見物です。  
〒和倉温泉観光協会 ☎0767-62-1555

**山代温泉** (石川県加賀市)

加賀温泉郷のひとつ。共同浴場「総湯」は2つあり、湯めぐりも楽しめます。高級からリーズナブルまで旅館の種類は豊富。また古い町並みも残り散策してもよく、九谷焼の美術館や販売店もほど近いです。  
〒山代温泉観光協会 ☎0761-77-1144





モデルコース③

地域に根づくものづくり産業を  
家族みんなで学ぶ旅



越中売薬の歴史と魅力を、楽しく学べる廣貴堂資料館

ファミリー層を対象に、北陸の伝統的なものづくり産業にふれ、産業発展史を学ぶコース。各種工芸体験や福井県立恐竜博物館などのアミューズメント施設もコースに盛り込み、大人から子どもまで楽しめる内容です。

日程	行程	食	宿泊先
1日目	(JR富山駅から市電で約15分) <b>廣貴堂資料館、池田屋安兵衛商店(薬膳料理)</b> または (JR富山駅から徒歩で船乗り場→約90分→岩瀬→約25分(ライトレール)→JR富山駅) 着地型 富岩水上ラインと富山ライトレールで行く岩瀬の町並み歩き (JR富山駅→約15分→JR滑川駅から徒歩8分) または <b>ホタルイカミュージアム</b> (JR富山駅→約25分→JR魚津駅から徒歩20分) または <b>魚津埋没林博物館</b> (JR富山駅→約60分→富山地方鉄道宇奈月温泉駅から徒歩10分) または <b>黒部峡谷鉄道</b>	薬膳料理 (昼) or 富山ブラック ラーメン (昼)	宇奈月温泉

日程	行程	食	宿泊先
2日目	(富山地方鉄道宇奈月温泉駅→約60分→JR富山駅→約35分(特急)→JR金沢駅) <b>金箔貼り体験(箔一「箔巧館」)</b> または <b>和菓子づくり(石川県観光物産館)</b> (JR金沢駅→約30分(特急)→JR加賀温泉駅) または <b>ゆのくにの森 工芸体験</b> or <b>日本自動車博物館 or 日本元気劇場</b>	トマトカレー(昼) or 娘まんじゅう (土産)	山中温泉
3日目	(JR加賀温泉駅→約20分(特急)→JR福井駅→約60分→えちぜん鉄道勝山駅) (勝山駅からコミュニティバスで3分) <b>繊維産業(はたや記念館 ゆめおーれ勝山)</b> OP 手作りコースター体験 または (勝山駅からコミュニティバスで15分) <b>福井県立恐竜博物館</b> (えちぜん鉄道勝山駅→約60分→JR福井駅→帰路)	—	—

※OPはオプションプランの略です。

着地型 富岩水上ラインと富山ライトレールで行く岩瀬の町並み歩き

**内容** 富山市街地の整備と工業地帯への原料運搬に大いに貢献した富岩運河を、地元ガイドが乗船するソーラー船(または電気ボート)で下ります。途中、水位差2.5mを調整する中島閘門(国の重要文化財)を通過します。岩瀬からは、富山ライトレールで富山駅北へ戻りますが、その前に、富山に莫大な財をもたらした、薬業の繁栄にも関係深い北前船のことを「北前船回船問屋 森家」に寄って学びましょう。

**所要時間** 約3時間30分(森家見学時間を含む)

**料金** 富岩運河環水公園から岩瀬カナル会館までの水上ライン乗船料と岩瀬浜から富山駅北までのライトレール運賃のセットで1,500円。森家見学は100円。

**運航** 富岩水上ラインは4~11月運航。岩瀬までは日・祝のみ2往復運航。

**お問い合わせ** 富山県地域振興課 ☎076-444-4116



北前船回船問屋 森家(国指定重要文化財)



落ちつきのある岩瀬の町並み



中島閘門を通過するソーラー船



JR富山港線を引き継ぐ富山ライトレール

見どころ紹介【1日目】



廣貫堂資料館 (富山県富山市)

約300年の伝統を誇る富山の売薬。売薬業者が共同出資して創設した廣貫堂は、明治9年創業の老舗の製薬会社です。資料館では、売薬の知恵の詰まった道具や懐かしい薬のパッケージなど貴重な資料を多数展示。富山の薬の歴史、製造工程の今昔を映像で分かりやすく紹介していて、大人から子どもまで楽しく学ぶことができます。

〒076-424-2310



池田屋安兵衛商店 (富山県富山市)

富山の薬を世に広めるきっかけとなった「越中反魂丹」、その販売を行う老舗薬屋。現在でも20種類の自家製和漢薬、200種類以上の薬草から、お客様の症状に合う薬を薬剤師が調合し提供しています。薬膳材料、健康茶、ハーブティー等、健康に欠かせない商品も販売。丸薬製造体験もできます。

〒076-425-1871



魚津埋没林博物館 (富山県魚津市)

国の特別天然記念物に指定されている魚津埋没林。約2000年前環境変動等により埋没した、樹齢500年を越す巨大な樹根を、発掘された当時のままを保存・展示しています。また同館のハイビジョンホールでは、迫力の大画面で魚津の「辰気楼」を見ることができます。

〒0765-22-1049

見どころ紹介【2日目】

箔一「箔巧館」(石川県金沢市)



金箔の総合ミュージアム「箔巧館」。金箔の歴史や金箔工芸作品の紹介、製造工程の見学、金箔体験など、金箔の魅力をもっと楽しむことができます。大人も子どもも楽しめる金箔貼りの体験は、旅の思い出づくりに最適。スタッフが丁寧に指導してくれるので初めての方でも安心です。

〒076-240-8911

ゆのくにの森 (石川県小松市)



輪島塗、九谷焼、友禅など、50種類以上の工芸体験ができる伝統工芸のテーマパーク。約13万坪の自然豊かな敷地内には、古民家や茅葺き屋根の建物が建ち並び、それぞれの風情ある館で、工芸体験・制作実演の見学などを楽しむことができます。

〒0761-65-3456

日本自動車博物館 (石川県小松市)



日本最大級の自動車博物館。ヨーロッパの宮殿を思わせるようなレンガ造りの建物で、12,000平方メートルの広大なスペースに、国産・外国車の伝説の車から大衆車までを一堂に展示しています。人とともに時代を超え、発展してきた自動車産業の歩みを感じることができます。

〒0761-43-4343

見どころ紹介【3日目】

はたや記念館 ゆめおーれ勝山

(福井県勝山市)

勝山の繊維産業の歴史が学べる施設。明治38年から平成10年まで、勝山の中堅機業場として操業していた建物を保存・活用したもので、勝山市指定文化財、国の近代化遺産に認定されています。館内には実際に使用していた織機等の動態展示や、機屋に関する歴史をパネルと映像で紹介。手作りコースターの手織り体験もできます。また勝山の物産販売コーナーやカフェもあり、まちなかの観光拠点にもなっています。

〒0779-87-1200



OP 手作りコースター体験

(福井県勝山市)



〒0779-87-1200 ※団体は要予約  
○所要時間 / 約40分  
○体験料金 / 中学生以上200円、小学生以下100円 ※団体割引あり

ピックアップ! 北陸の食

薬膳料理 (富山県富山市)

全国的に有名な富山の薬。今富山では、新たな名物として「薬膳料理」の開発・販売が各所に広がっています。そのひとつ老舗売薬商の池田屋安兵衛商店では、古代米や高麗人参など薬草を取り入れたコース料理をはじめ、ハーブティー・野草茶・野草アイスクリームなど、種類豊富な薬膳メニューを楽しむことができます。

〒076-425-1873



トマトカレー (石川県小松市)

石川県では金沢カレーが有名ですが、こちらは北陸一のトマト産地小松で採れたトマトを使ったご当地カレー。トマトの程良い酸味と、カレー本来のスパイシーな辛さのバランスが絶妙な味わいです。レトルトパックもありお土産に最適。

〒0761-25-1188

ピックアップ! 北陸の温泉

山中温泉 (石川県加賀市)

加賀温泉郷のひとつ。1300年の歴史を持ち、芭蕉をはじめ古くから多くの文人墨客たちが訪れた豊かな自然が残る温泉地。泉質はカルシウム・ナトリウム—硫酸塩泉。

〒0761-78-0330

宇奈月温泉 (富山県黒部市)

7キロ上流の黒部温泉から大正時代に湯を引いてきた県内随一の温泉地。源泉は非常に高温で湯量も多く、単純温泉の湯は温泉街に3ヵ所ある足湯や噴水にも使われています。

〒0765-62-1021



宇奈月温泉「足湯・おもかげ」

第二章

# 戦国乱世を強く生きた姫たち

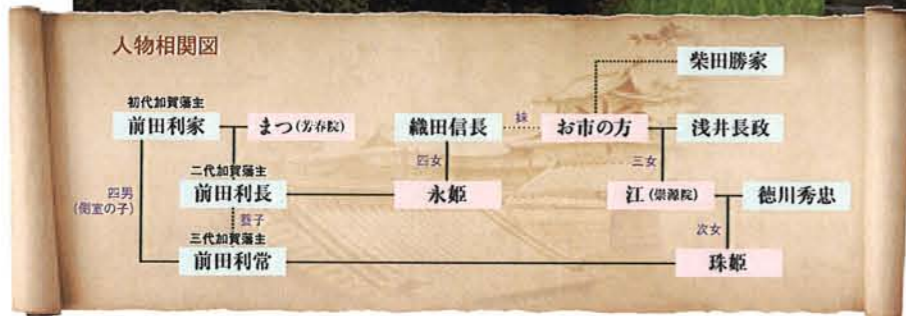
戦国の乱世を駆け抜けた多くの武将。彼らを陰で支えたのが、その妻たち。特に北陸に拠点を構えた武将たちの妻には、さまざまなエピソードがあり、NHK大河ドラマの登場人物にもなっています。2002年『利家とまつ〜加賀百万石物語〜』でヒロインとなったまつと、2011年『江〜姫たちの戦国〜』の主演である江、そしてそして江の母であるお市の方と江の娘である珠姫、さらには織田信長の娘で前田利家とまつの子・利長の正室・永姫を軸に、戦国乱世の世界での姫たちが生きた姿、そして後世に残した伝統などをご紹介します。

## 前田家の危機を二度も救った才女

『利家とまつ』で松嶋菜々子が演じたまつ。天文16年(1547)生まれで、利家のいとこにあたります。実父の死去後、利家の父・利春の養子となり、永禄元年(1558)のとき利家に嫁ぎます。当時



桜が一面に咲き誇る春の兼六園



毎年6月に開かれる金沢百万石まつりのメインイベント・百万石行列



金沢市尾山神社にあるまつ像

利家21歳、まつ12歳。以来「かぶき者」と称された夫・利家をもり立て続けました。

まつは二度にわたり前田家の危機を救っています。最初は天正11年(1583)。賤ヶ岳の戦いのとき、利家は豊臣秀吉と敵対した柴田勝家につきまします。しかし利家は敗走。そのときまつは秀吉と越前(現在の福井県)で出会い、和議を図り夫の危機を救いました。利家の死後は仏門に入り芳春院と号し、嫡男の利長が家督を継いでからも良妻賢母ぶりを示します。豊臣秀頼の後見人を命じられ、大坂城に詰めていた利長が父の葬儀のため金沢に戻った慶長5年(1600)が二度目です。利長は徳川家康への謀叛の嫌疑をかけられてしまいます。まつは軍備を整え交戦しようとする利長を諫め、大坂へ弁明の使者を送り、「侍は家を立てることが第一、この母を捨てなされ」といい自らを人質とするように指示します。その後15年にわたり江戸に住み続け、死の3年前になりようやく帰国を許されました。

まつがいなくては加賀藩もなかったかもしれません。さらには、今も金沢に伝わる伝統文化・芸能の数々も存在し得なかったといえるでしょう。そのためか現在に至るまで市民からの人気を集め、毎年6月に開かれる「金沢百万石まつり」のメインイベント・百万石行列では有名女優がまつ役を演じ、毎年誰が選ばれるかが注目を集めます。さらに金沢の代名詞といえる兼六園は、五代藩主綱紀をはじめとして、歴代藩主が手をかけて造成した加賀百万石の大名文化の象徴。その礎を築いた利家とまつ功績にも思いを馳せてはいかがでしょうか。

## 若くして亡くなった悲劇の姫

そして、まつが江戸に赴いた際、前田家に嫁ぐように約束され、のちに輿入れしたのが珠姫です。彼女は二代將軍となる徳川秀忠の次女で、母は江。江は織田信長の妹・お市の方の娘です。慶長4年(1599)に生まれた珠姫。翌年にはのちの加賀三代藩主・利常との結納を交わし、わずか3歳で金沢城に輿入れ、14歳で結婚しました。

政略結婚であったものの夫婦仲は非常に良かったといわれます。しかし前田家は百万石という最大規模の外様大名だったため、幕府の情報が漏れることを恐れた珠姫の乳母が五女出産後に珠姫を隔離。寵愛が薄れたと思った珠姫は24歳の若さでそのまま衰弱死してしまいます。大変悲しんだ利常は菩提寺として天徳院を建立、これは現在も金沢市小立野にあります。



金沢を代表する伝統工芸・加賀友禅

また、珠姫の輿入れは大変な規模で行われ、江戸から数百人の人たちがお伴として来て、そのまま現在の兼六園近くに長屋を設けて住みつきました。人数が多いことから、江戸の文化も流入したと考えられます。珠姫の死後は江戸に帰ったものの、五代藩主綱紀の時代にはこの長屋の近辺に京都から招いた彫金師を住ませました。また京都の陶工が来たときもこの長屋近辺を宿舎にするなど、珠姫の輿入れが江戸文化と京都の美術工芸の伝来に貢献、ひいては優美な加賀友禅や、武具の装飾などに使われた加賀象嵌そうがんの誕生に寄与したといえるかもしれません。

### 高岡を開いた夫を陰ながら支える

そして二代藩主利長に嫁いだ永姫。天正2年(1574)に織田信長の四女として生まれ、7年後利長の正室となります。まつのように歴史の表舞台に立つことは少ないものの、利長が家康に謀叛の嫌疑をかけられたときは、まつとともに一時的に人質になるなど夫を陰ながら支えました。

夫と仲はよかったものの子宝に恵まれず(利長自身実子は1人のみ、早世)、「どんな女でも良いから夫の子を産んでほしい」と言っていたとされます。その後利長は異母弟の利常を養子にして家督を譲り、現在の高岡で隠居生活に入ります。

利長は高岡で鑄物を振興し、街の礎を築きました。夫の没後、永姫は剃髪し金沢に戻ります。その後利常は利長の菩提寺として瑞龍寺を建立、これがのちに国宝になるのです。

### 過酷な運命をたどった戦国一の美女

珠姫の祖母であり江の母で、まつと同時代を生きたお市の方。夫・兄の死去など、北陸に縁のある姫たちの中では最も過酷な運命にさらされたといってもいいかもしれません。

戦国一の美女といわれたお市の方は、織田信長の妹(他説あり)として有名です。生年は天文16年(1547)といわれ、永禄10年(1567・他説あり)には兄の命令で近江(現在の滋賀県)の浅井長政と結婚し、織田家と浅井家は同盟を結びます。夫婦仲はよく、長女茶々(のちの淀君)、次女初、三女江という三姉妹に恵まれました。元亀元年(1570)に信長が浅井家と縁の深い越前朝倉氏を攻めたため同盟関係が解消。天正元年(1573)、長政は信長に敗れ自害、兄のもとに帰りますが、信長が討たれ紆余曲折を経て天正10年(1582)に柴田勝家と再婚、北の庄(現在の福井市)に入ります。それでもなお勝家と秀吉が敵対し、賤ヶ岳の戦いで敗れると夫とともに北ノ庄城で自害、波瀾の人生の幕を引きました。

お市の方が一時期を過ごした福井県には、いろい



柴田勝家とお市の方がまつられた柴田神社に隣接する柴田公園

ろなゆかりの場所があります。代表的なのが、福井市の柴田神社。勝家を主祭神とし、お市の方をまつるほか境内にはお市の方の3人の娘をまつった三姉妹神社もあります。また勝家とお市の方の菩提寺・西光寺も福井市にあり、お市の方の墓があります。



初と京極高次が眠る常高寺。現在の建物は平成13年に再建された



金ヶ崎城は別名教賀城とも呼ばれ、今は桜の名所として知られ、ライトアップもされる

### 信長を伯父、秀吉を義父、家康をしゅうとに持つ姫

そして珠姫の母・江。2011年の大河ドラマの主人公に選ばれた彼女は、戦国という時代に翻弄されながらもしなやかにたくましく生き抜いた人物。信長を伯父、秀吉を義父、家康をしゅうとに持ちます。

お市の方と浅井長政の三女として、江は天正元年(1573)に生まれます。長政は同年に小谷城の戦いで信長に敗れ命を落とし、お市の方は柴田勝家に嫁ぎます。その後勝家が越前の守護となり、江は上の姉・茶々と下の姉・初とともに、幼少時を福井で過ごしました。賤ヶ岳の戦い後、茶々は秀吉の側室となりますが、初と江は政略結婚を強いられることとなります。江は12歳のとき従兄弟である佐治一成のもとに嫁ぎますが、小牧・長久手の戦いで一成が秀吉の側につかなかったことから離縁させられます。その後秀吉の甥(のち養子)秀勝のもとに嫁ぎます。娘をもうけるものの、文禄元年(1592)に秀勝が病死。再度秀吉のもとに戻ります。

転機となったのは再々婚。文禄4年(1595)、徳川家康の嫡男でのちの二代將軍・秀忠に嫁ぎ、正室となります。秀忠は6歳下でした。その後秀忠は正式な側室を持たなかったように夫婦仲は悪くなかったとみえて、のちの三代將軍家光など二男五女に恵まれました。

江の姉、初の夫の京極高次は若狭城主となり、その地方に三姉妹ゆかりの地があります。初が夫の死後建立し、自らも葬られたといわれる常高寺、築城したものの明治初期に焼失した小浜城址などのほか、教賀の金ヶ崎城跡は、お市の方が夫・浅井長政の謀叛を信長に知らせたという「小豆袋」の逸話が伝わる場所です。

戦国～江戸時代初期を生きた姫たち。それぞれが残した物語や伝統が、北陸にはあります。5人の姫の足跡を、ぜひたどってみてください。



モデルコース①  
戦国の姫たちの  
暮らしを偲ぶ



桜が咲きライトアップされた一乗谷朝倉氏遺跡・唐門

2011年の大河ドラマの主演「江」に関連して、お市の方や珠姫の生涯にふれながら、戦国から江戸の暮らしと今につながる北陸の文化にふれるコースです。

日程	行程	食	宿泊先
1日目 福井	(JR敦賀駅→約60分→JR小浜駅) (小浜駅から1Km圏、レンタサイクル) <b>若狭小浜散策～常高寺、常高院墓所、愛宕神社(お初[江の姉]ゆかりの地)など</b> (JR小浜駅→約60分→JR敦賀駅→約30分(特急)→JR福井駅) (福井駅からバスで約25分※土日祝日は無料シャトルバスあり) 着地型 <b>地元ガイドと巡る一乗谷朝倉氏遺跡</b>	鯖料理 or 焼き鳥	福井市内 ホテル or あわら温泉
2日目 石川	(JR福井駅→約45分(特急)→JR金沢駅) (城下まち金沢周遊バス ※12分間隔で運行 一日乗り放題:大人500円) 着地型 <b>まいどさんに伺う前田家の姫君たちの暮らし～天徳院・成巽閣～</b> <b>ひがし茶屋街散策</b> [OP] 加賀友禅着付け体験 [OP] 加賀友禅柄の彩色体験 (JR金沢駅→帰路)	海鮮丼・ 回転寿司 (近江町) (昼)	———

※[OP]はオプションプランの略です。

着地型 地元ガイドと巡る一乗谷朝倉氏遺跡

内容	一乗谷朝倉氏遺跡等を地元ガイドが案内します。
所要時間	約1時間30分(基本コース 復原町並～唐門～各庭園)
見学場所	①復原町並 堀に囲まれた重臣の屋敷が山際に並び、計画的に造られた道路をはさんで、武家屋敷や庶民の町屋が形成されていた様子がリアルに再現されています。 ②義景館跡(唐門) 朝倉氏五代義景様の菩提を弔うために建てられたお寺、松雲院の正門。質素な中にも堂々とした気品をたたえる遺跡のシンボル。桜との競演が見物で、年中ライトアップされています。 他に、湯殿跡庭園、中の御殿跡、諏訪館跡庭園、福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館をガイド※とともに巡ります。 ※連絡先/(社)朝倉氏遺跡保存協会(☎0776-41-2330) ©ガイド料金/4,000円～(団体向け) (個人向けのGPSガイドシステム)によるガイド案内(無料)もあります

〈展示会のご案内〉

- ◆福井市愛宕坂茶道美術館(福井市足羽1-8-5) 【企画展】「戦国武将と茶の湯」(H22/12/18～H23/3/2)
- ◆福井県立若狭歴史民俗資料館(小浜市遠敷2-104) 【テーマ展】「戦国三姉妹 初」(H23/4/9～5/8)

着地型 まいどさんに伺う前田家の姫君たちの暮らし～天徳院・成巽閣～

内容	珠姫をメインに前田家の奥方、姫君の暮らしぶりをまいどさん※が案内します。
所要時間	ご希望のお時間にあわせて、観光スポットを巡ります。
見学場所	①天徳院(珠姫菩提寺) ・珠姫が着用した着物などの生活用品、手作り折紙などを通じ、珠姫の暮らしぶりを解説 ・徳川家と前田家の結びつき、天徳院の歴史、保管されている仏像の解説 ・珠姫の生涯を描いたカラクリ人形劇「珠姫・天徳院物語」鑑賞 ②成巽閣 成巽閣は、文久3年(1863)に加賀藩13代藩主前田斉泰が母真龍院のために建てた建物で兼六園に隣接しています。前田家の姫君たちの衣裳や調度品が展示されています。 ※連絡先/金沢市観光協会(☎076-232-5555) 金沢観光ボランティアガイドの会「まいどさん」 ©ガイド料金:無料(金沢市のご希望の地域をご案内することもできます。1週間前までにお申し込み下さい)

〈展示会のご案内〉

- ◆成巽閣(金沢市兼六町1-2)  
 【企画展】「前田家伝来 冬衣裳と調度展」(H22/12/2～H23/1/31)  
 江戸時代、厳しい寒さに対して夜着は豪華に彩られ、邪気を退ける魔除けのために吉祥の文様がちりばめられていました。秀逸な紋りと華麗な刺繍を駆使した夜着と、若き姫君の愛らしい小袖を中心に冬の装いと調度の品を展示します。  
 【特別展】「前田家伝来 雛人形雛道具特別展」(H23/2/3～4/18)  
 雛人形、雛道具が収められていたという金沢城の雛土蔵が記された古絵図。この春、往時を偲んで絢爛たる屏風を背に雛たちが蘇ります。

見どころ紹介【1日目】

常高寺  
(福井県小浜市)



2011年の大河ドラマの主演である江の姉「初」(常高院栄昌尼)が眠るのが常高寺です。現存する常高院の貴重な肖像画、自筆の消息(手紙)、墓所のほか、書院に遺る壁画が往時の盛運を偲ばせています。  
 常高寺 ☎0770-53-2327

一乗谷朝倉氏遺跡  
(福井県福井市)



今から約500余年前、戦国大名朝倉氏が約100年にわたって越前の国を支配した当時の城下町跡です。織田信長に敗れるまで、最盛期には人口1万人を超えたといわれ、雄大な城下町に雅やかな文化の華を咲かせました。遺跡内の4つの庭園は、国の特別名勝に指定されています。  
 朝倉氏遺跡保存協会 ☎0776-41-2330

養浩館庭園  
(福井県福井市)



福井藩主松平家の別邸。池周囲に建つ書院建築の数々、広大な園池を主体とした回遊式林泉庭園は江戸中期を代表する名園の一つです。アメリカの庭園専門誌が選ぶ「日本庭園ランキング」では3年連続で第3位にランクされています。  
 福井市立郷土歴史博物館 ☎0776-21-0489

見どころ紹介【2日目】

天徳院  
(石川県金沢市)

加賀3代藩主前田利常が正室・珠姫の菩提を弔うために創建したのが天徳院です。珠姫は2代将軍徳川秀忠と正室「江」の次女として生まれ、3歳で加賀藩に輿入れしました。本堂では1日4回、からくり人形による「珠姫・天徳院物語」が上演されているほか、庭園を眺めながら抹茶をいただくことができます。  
 珠姫の寺 天徳院 ☎076-231-4484

石川県立歴史博物館  
(石川県金沢市)

兼六園近くに位置し、石川の古代から近代までの歴史と文化を紹介する博物館です。赤煉瓦の建物は、かつて旧陸軍兵器庫や金沢美術工芸大学の校舎に使用。その後保存復元したもので、平成2年に国の重要文化財に指定されています。  
 石川県立歴史博物館 ☎076-262-3236

成巽閣  
(石川県金沢市)

加賀13代藩主前田齊泰によって母真龍院のため、文久3年(1863)兼六園の一隅に建てられました。柿葺き、寄棟造りの2階建ての建造物で、階下は書院造り、階上は数寄屋風書院造りという2つの様式を取り入れている国の重要文化財です。殿閣を取り囲む庭園「飛鶴庭」は国の名勝に指定されています。  
 成巽閣 ☎076-221-0580



OP 加賀友禅の着付け体験  
(石川県金沢市)



園久連波(くれは) ☎076-253-9080※要予約  
 ◎着付け所要時間/30分  
 ◎体験料金/1時間4,000円~  
 (雨天の場合は5,000円~)

OP 加賀友禅柄の彩色体験  
(石川県金沢市)

園友禅アート染筆 ☎076-268-4688  
 友禅作家の工房で色付けが楽しめます。5人以上20人まで※要予約(火・水・土・日開催)  
 ◎所要時間/約60分 ◎体験料金/3,000円



※上記の他に金沢市観光協会では約80コースの「なんでも体験プログラム」を準備しています。

ピックアップ! 北陸の食

鯖料理  
(福井県小浜市)



京へと続く「鯖街道」から若狭の鯖文化が発展しました。小浜では、焼物、煮物、酢じめなどの料理のほか、浜焼き鯖や伝統食「へしこ」も有名です。

焼き鳥  
(福井県全体)



知る人ぞ知る福井を代表する食文化「焼き鳥」。実は、福井は焼き鳥の消費量が全国平均の1.5倍を超える焼き鳥の本場。持ち帰り専門店も多数あります。

回転寿司  
(石川県金沢市)



日本海のとびきり新鮮なネタを、手ごろな価格で味わうなら回転寿司がおすすめです。都会で食べる回転寿司とは、きっとひと味もふた味も違います。

ピックアップ! 北陸の温泉

あわら温泉 (福井県あわら市)

明治16(1883)年の開湯以来、たくさんのお客様をお迎えしてきたあわら温泉は、「関西の奥座敷」と呼ばれるほど風雅な温泉まちです。多くの文人墨客に愛されてきたあわらの風情と情緒は、今もそのもてなしの心の中に生き続け、近代建築の中に優雅さと奥ゆかしさを伝える「ロマンティック湯の町」として、北陸でも格別の評価を得ています。  
 園あわら市観光協会 ☎0776-78-6767





## モデルコース② 大河ドラマ『江～姫たちの戦国～』、 『利家とまつ』ゆかりの地を巡る



金沢城公園は、特別名勝「兼六園」と一体となった県都金沢のシンボル公園です

福井から石川、そして富山へと大河ドラマ『江～姫たちの戦国～』、『利家とまつ』ゆかりの地を巡り、戦国時代に生きた奥方、姫たちの生涯にふれるコースです。富山県では前田家存続を賭けた加賀藩の秘密にも迫ります。

日程	行程	食	宿泊先
1日目 福井	(JR福井駅から徒歩10分) 着地型 地元ガイドと巡るお江ゆかりの地 -北の庄城址・西光寺- (JR福井駅→約45分(特急)→JR金沢駅) [OP] 金沢市湯涌江戸村 散策	おろしそば (昼)	湯涌温泉
2日目 石川	着地型 まいどさんに何う前田家の奥方の暮らし -金沢城・尾山神社- (城下まち金沢周遊バス ※12分間隔で運行 一日乗り放題:大人500円) または 武家屋敷、ひがし茶屋街散策 [OP] 加賀の茶の湯 [OP] お座敷体験 (JR金沢駅前→約50分(バス)→華山温泉前)	加賀野菜	華山温泉 (福光)
3日目 富山	(JR福光駅→約40分→JR高岡駅) 着地型 地元ガイドによる瑞龍寺解説 (JR福光駅→約10分→JR城端駅→約40分(バス)→五箇山) または 五箇山 塩硝の館、加賀藩の塩硝づくり見学 (五箇山→約40分(バス)→JR城端駅→JR高岡駅→帰路)	豆腐田楽	—

※[OP]はオプションプランの略です。

### 着地型 地元ガイドと巡るお江ゆかりの地 -北の庄城址・西光寺-

内容	地元のボランティアガイド*と北の庄城址や西光寺を巡り、お江について説明します。
期間	平成23年3月末までの土・日・祝日 10～15時
見学場所	北の庄城址(柴田公園)、西光寺(柴田勝家の菩提寺)など *連絡先(財)歴史のみえるまちづくり協会(☎0776-20-5106) 福井市歴史ボランティアグループ「語り部」

#### 〈展示会のご案内〉

- ◆福井県立美術館(福井市文京3-16-1) 【NHK大河ドラマ特別展】「江」(福井展)(H23/4/22～5/29)  
「江」や、ゆかりの人物の遺品、書簡などにより、「江」の人物像と戦国から江戸期の時代性を200点程度の歴史資料で紹介します。
- ◆福井市立郷土歴史博物館(福井市宝永3-12-1) 【特別陳列】「お江と北の庄」(H23/3/9～4/24)
- ◆福井県立若狭歴史民俗資料館(小浜市遠敷2-104) 【テーマ展】「戦国三姉妹 初」(H23/4/9～5/8)

### 着地型 地元ガイドによる瑞龍寺解説

内容	地元のボランティアガイド*が瑞龍寺はじめ高岡の歴史を解説します。
所要時間	約1～2時間
見学場所	高岡の基礎を築いた3代藩主前田利常が前田利長の菩提寺として寛文3年(1663)に建立した曹洞宗の巨刹です。総門、山門(国宝)、仏殿(国宝)、法堂(国宝)を一直線に配置し、山門両側より法堂へ四方にわたって300mの回廊で結んだ典型的な禅宗寺院建築としての伽藍構成になっています。 *連絡先/P9参照

#### 〈イチ押しのポイント〉

- ◆鉛瓦は金沢城と瑞龍寺の特徴!  
鉛瓦を使っている現存する建築物は、国内では瑞龍寺と金沢城のみといわれています。屋根に鉛を使った理由には諸説ありますが、戦の時に鉛を溶かして鉄砲の弾に作り変えることができるからという加賀藩の軍事目的説もあるそうです。



平成9年に国宝指定された山門



周囲約三百メートルに及ぶ回廊

見どころ紹介【1日目】



北の庄城址 (福井県福井市)

今から約420年前、当時天下の名城といわれた安土城の天守閣でさえ七層であった時代に、九層にもほる日本最大級の城・北の庄城が築かれたところです。城主は柴田勝家。隣接する柴田神社には勝家、お市の方が合祀されています。

柴田神社 ☎0776-23-0849



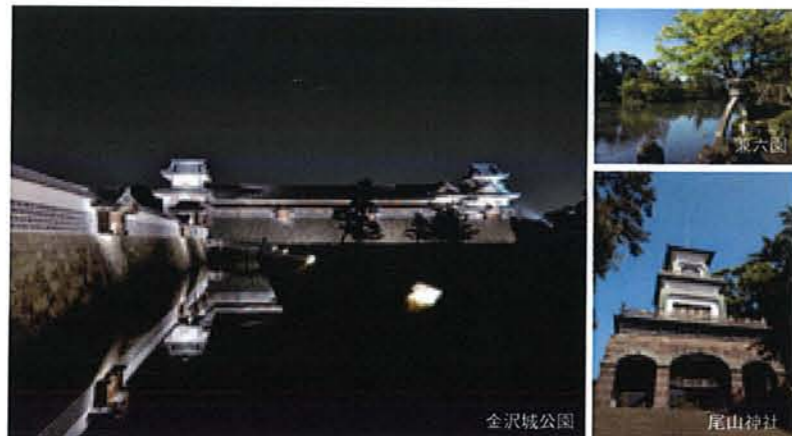
西光寺 (福井県福井市)

北の庄城主・柴田勝家とお市の方が眠る古刹です。境内には、勝家とお市の方の墓石のほか、柴田勝家公資料館(無料)があり、馬標や鬼瓦などの遺品や遺物が収蔵されています。

西光寺 ☎0776-36-1528



見どころ紹介【2日目】



金沢城公園 (石川県金沢市)

歴代加賀藩主の居城であった金沢城の城址を建物跡や遺構などをもとに整備してつくられたのが金沢城公園です。我が国を代表する近世城郭の歴史的文化的遺産の保全を図りながら、兼六園と並ぶ石川県のシンボル公園として整備が進められています。

金沢城・兼六園管理事務所 ☎076-234-3800

兼六園 (石川県金沢市)

百万石前田家の庭園として造られた特別名勝・兼六園は、日本三名園の一つに挙げられます。ほぼ現在の姿に造園されたのは13代藩主齊泰の時代で、冬の風物詩・雪吊りや梅苑の紅梅白梅など四季折々の自然と、絶え間ない築庭の妙が織りなす景観は、屈指の美しさと雄大さを生み出しています。

金沢城・兼六園管理事務所 ☎076-234-3800

尾山神社 (石川県金沢市)

明治6年(1873)に創建された加賀藩祖前田利家公と正室のおまつの方を祀る神社です。明治8年に建てられた神門は、和漢洋折衷の3層式で、明治初期に建てられた数少ない擬洋風建築遺構の1つで、国の重要文化財に指定されています。

尾山神社 ☎076-231-7210

OP 加賀の茶の湯体験 (石川県金沢市)



金沢城・兼六園管理事務所  
☎076-234-3800  
※予約不要  
◎所要時間/30分  
◎体験料金/  
抹茶(生菓子付き)700円、  
煎茶(干菓子付き)300円

OP お座敷体験 (石川県金沢市)



金沢市観光協会  
☎076-232-5555  
※要予約(定員に達し次第締切り、  
年末年始を除く9月~3月の毎週  
土曜日開催)  
◎所要時間/60分  
◎体験料金/3,000円(お茶・お菓子付き)

※上記の他に金沢市観光協会では約80コースの「なんでも体験プログラム」を準備しています。

見どころ紹介【3日目】

瑞龍寺 (富山県高岡市)

加賀藩二代藩主前田利長公(正室は織田信長の娘「永姫(玉泉院)」)の菩提寺曹洞宗の名刹です。3代藩主前田利常の建立で、壮大な伽藍配置様式の豪壮にして典雅な美しさに圧倒されます。山門、仏殿、法堂は富山県で初めて国宝の指定を受けています。

瑞龍寺 ☎0766-22-0179

塩硝の館 (富山県南砺市)

加賀藩政時代300年にわたって続けられていた火薬の原料となる塩硝製作は、当時の五箇山の一大産業でした。塩硝製法は、鉄砲伝来から20数年で、すでに五箇山に伝えられていたといわれています。「塩硝の館」では、塩硝の材料の採取から、出荷までの過程をわかりやすく再現しています。

塩硝の館 ☎0763-67-3262



ピックアップ! 北陸の食

越前おろしそば (福井県嶺北)



おろした大根をあらかじめどっさり入れた独特のつゆと、色が黒くコシのしっかりとした麺が特徴の越前おろしそば。麺の香ばしい甘みと大根おろしの辛みが織りなす妙味は得もいわれません。

加賀野菜 (石川県金沢市)



加賀野菜は、昭和20年以前から主として金沢で栽培されている伝統野菜の中から特に選ばれた郷土野菜です。現在は「打木赤皮甘栗かぼちゃ」や「金時草」など、15品目が加賀野菜として認定されています。

豆腐田楽 (富山県南砺市)



五箇山ではその堅さから「枕にした」とか「つまづいて生爪をはがした」との例え話もある「固豆腐」。その形が崩れないという特徴を活かした固豆腐の田楽は、豆腐のコクと焼けたみその風味が格別です。

ピックアップ! 北陸の温泉

湯涌温泉 (石川県金沢市)

金沢の奥座敷と言われる開湯1300年の温泉。藩政時代にはお殿様の湯浴び場として、大正6年(1917)には竹久夢二が笠井彦乃と至福の日々を過ごしました。

湯涌温泉観光協会 ☎076-235-1040

華山温泉 (富山県南砺市)

世界遺産の五箇山まで車で約30分、砺波平野の散居村が一望できる温泉です。北陸唯一の展望砂風呂が疲れた身体を癒してくれます。

湯涌温泉 ☎0763-52-0500



湯涌温泉



華山温泉



## 第三章

## 信仰が息づく暮らし

北陸は「真宗王国」と称され、信仰深い土地柄といわれます。NHKが行った全国県民意識調査(平成8年)によれば、「宗教を信仰していない人の割合の少なさ」で1位が福井県、3位が富山県となったように、信仰心の篤さは数字にも表れています。北陸各地を歩くと、そのような信仰の歴史が培った数々の風習を見かけることができます。



永平寺町の夏の風物詩「えいへいじ大燈籠ながし」は、永平寺の雲水による読経の後、九頭竜川に約1万個の燈籠が流されます

## 信仰の歴史が培った数々の風習

金沢市のひがし茶屋街周辺を歩くとよく見かけるのが、軒先にかけてられたトウモロコシです。行き交う観光客が「なんだらう?」という顔で珍しそうに通り過ぎていきます。

実は金沢市東山にある観音院で毎年夏、その日に参拝すれば4万6000日分のご利益があるとされる年中行事「四万六千日」が行われ、この日、観音院で祈祷を受けたトウモロコシを買って帰り、自宅の軒先に吊しておくとか家内安全や厄除けのご利益があるといわれているのです。トウモロコシの多い実は家族の繁栄に、そしてふさふさした毛は「儲け」や「魔除け」に通じるというわけです。



信仰が息づくひがし茶屋街(左)。切ったり焼いたりしてはいけないころ餅(右上)。観音院の「四万六千日」は藩政期以来の宗教行事(右下)

金沢では薄く切って竹串にさした餅を天井に飾る風習もあります。室生犀星が幼少期を過ごした雨宝院のすぐそばにある神明宮で春と秋に300年以上の歴史を持つ「あぶり餅神事」が行われ、竹串にさした四角い小さな餅を炭火で焼き、生姜みそのたれで味つけしたあぶり餅が売られます。この時、同時に売られる生タイプのもは天井にさしておくと、悪事災難除けになるといわれているのです。

邪気を払い、幸運をもたらすと考えられた餅は古くから、さまざまなお祝いの席や行事に使われてきました。何かにつけてお菓子を贈る風習がある金沢で、全国的に珍しいのが「ころころと安産できますように」との願いを込めて、出産を控えた娘のいる家が親戚や近所に配る「ころころ餅」です(富山県にも同様の風習があります)。丸くすべすべした餅を生まれてくる赤ちゃんに見立て、餅の形が長いと男の子、丸いと女の子といったふうに餅によって生まれてくる赤ちゃんを占ったりもしていました。こうした暮らしの節目節目に行われる北陸の風習は、信仰の歴史のなかで培われたものです。

## ひととき目を引く巨大ながんもどき

「真宗王国」と呼ばれる北陸では11月から12月にかけて、浄土真宗の寺院で親鸞聖人の命日にちなんだ仏事「報恩講」が開かれ、聖人の遺徳を偲びます。この時、お齋の膳に並ぶのが聖人の好物とされる豆腐の小豆汁をはじめ、こんにゃくの煮しめ、大根とにんじんの酢の物、堅豆腐(固豆腐)といった精進料理。なかでもひととき目を引くのが、ぎんなん、きくらげ、れんこん、しいたけなどの具がぎゅうぎゅうと詰まった、金沢で「ひろず」と呼ばれるがんもどきの巨大さでしょう。ものがあふれた現代は



金沢ならではの巨大ながんもどき(写真は金沢豆腐の「特製ひろず」)(左)。福井県でポピュラーな「中揚げ」と呼ばれる座布団のような油揚げ(右)



南砺市の報恩講料理(左上)。わらで包んでも崩れない固豆腐(左下)。報恩講のお齋の様子(南砺市)(左下中)。芸術品としても価値がある金沢仏壇(右)

ともかく、かつての報恩講はご馳走をお腹いっぱい食べられる特別な日でした。ひろずの大きさも、ハレの日ならではの贅沢だったに違いありません。

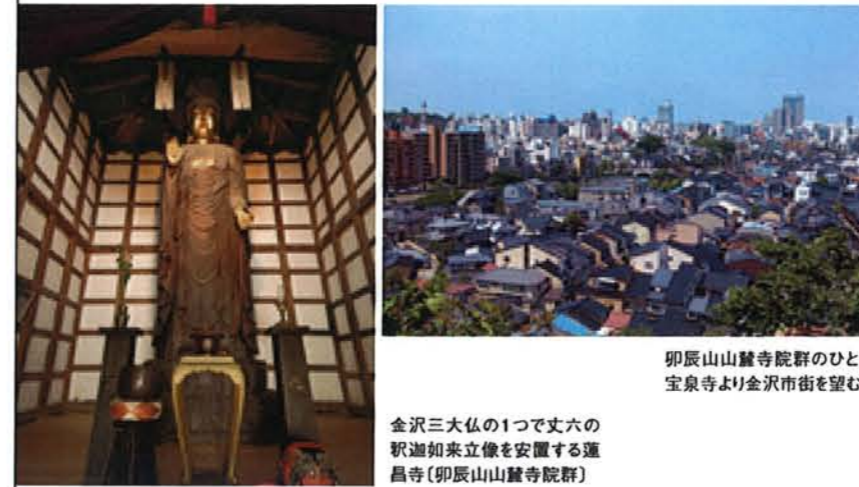
福井県は油揚げの消費量が日本一の県として知られています。県内では定番の油揚げ料理のほか、おろしそばやラーメンなど、さまざまな料理で油揚げを使います。油揚げもまた、報恩講に欠かせない一品です。福井県民の油揚げ好きは信仰心の篤い土地柄と無縁ではないでしょう。

### 暮らしの中心に信仰を置いた家づくり

北陸ではお経の「正信偈」を暗唱できる人が少なくありません。そんな北陸の人々は昔から、立派な仏壇を持つことを一生の願いとしてきました。こうした土壌によって、金箔や蒔絵技法をふんだんに活かした、きわめて芸術性の高い金沢仏壇などが生まれています。その一方、北陸の旧家では家のなかで最良の部屋を居間でもなく客間でもなく、仏壇のある仏間としてきました。各家庭で行われる「うちほんこう」の際、仏間のふすまを外すと、そこを中心に大広間となり、寺院のお堂のように大勢の客を収容できるように工夫されています。暮らしの中心に信仰を置いていたことが家



井波彫刻の原点といわれる瑞泉寺。7月に太子堂では、寺に伝わる八幅の絵伝で聖徳太子の一生を解説し遺徳を偲ぶ「絵解き」などが行われる



金沢三大仏の1つで丈六の釈迦如来立像を安置する蓮昌寺(卯辰山山籠寺院群)

卯辰山山籠寺院群のひとつ、宝泉寺より金沢市街を望む



の構造からも分かるでしょう。このように北陸は「おばあちゃんの家の仏間」にいるような、温かく、そしてどこか懐かしい安らぎを感じさせる土地です。

### 信仰深い北陸を肌で感じられる場所

往時、真宗王国・富山の中核だった南砺市の瑞泉寺は、その堂宇に井波彫刻の原点ともいわれる匠の技が至るところに散りばめられています。また、金沢市の卯辰山のふもとにある卯辰山山籠寺院群の、「心の道」と名づけられた迷路のような路地を歩くと、冒頭に紹介した観音院など数多くの寺社と出会うことができます。福井県の永平寺ではいまも多くの修行僧が日夜修行に励んでいます。これらの場所に赴くと、北陸の信仰の深さを肌で感じる事ができるでしょう。

暮らしの中心に信仰を置いた安らぎを与えてくれる家、そして信仰深い土地柄は、旅行者でも歩くほどに肌で感じる事ができるはずです。それをちょっとだけ意識して旅をしてみてください。きっと今まで気がつかなかった“本当の北陸の魅力”が見えてくるでしょう。

紅葉に彩られた永平寺(左上)。参拝後に門前町でいただく精進料理も楽しみ(左下)。凍り付いた空気に包まれる冬の永平寺(右)



モデルコース①  
信仰が息づく  
暮らしを肌で感じる



永平寺の正門の真正面。老杉に囲まれた中に立つ唐門は、柱部に彫刻をほどこした品がある。

大都市で忙しい日々には、疲れたビジネスマンが、日常生活にとけこんだ北陸の信仰にふれ、非日常を体験することで都市生活での疲れた心を癒すコースです。

日程	行程	食	宿泊先
1日目 福井	(JR福井駅→約25分→えちぜん鉄道永平寺口駅) (鉄道またはバス) <b>着地型 坐禅や作務、読経などの修行 -永平寺-</b>	精進料理	永平寺
2日目 福井	(1日目に続き) 永平寺 修行体験 (えちぜん鉄道永平寺口駅→約25分→JR福井駅→約20分→JR芦原温泉駅) (JR芦原温泉駅からあわら市コミュニティバスで約30分) 吉崎御坊 蓮如上人記念館 または 東尋坊 or 那谷寺 or 全国子供歌舞伎フェスティバルin小松	季節の食材を活かした旬の会席	粟津温泉
3日目 富山	(JR加賀温泉駅→約45分(特急)→JR高岡駅) 国宝瑞龍寺参拝 (高岡駅より徒歩10分) または 山町筋・金屋町、高岡大仏散策 (高岡駅より徒歩15分) (錆物の町の仏具づくりや土蔵造りの町並み・菅野家【仏壇】見学) (JR 高岡駅→帰路)	—	—

着地型 坐禅や作務、読経などの修行 -永平寺-

内容 参禅・参籠で禅宗の厳しさを体験

所要時間 1泊2日 8,000円、3泊4日 13,600円(経本持参の場合 12,100円)  
150名の雲水(修行僧)によって、荘厳な雰囲気の中、今も750年前に道元によって定められた厳しい作法に従って禅の修行が営まれています。

日課

起床洗面	晩天坐禅	朝課	小食	作務	坐禅	日中	中食	作務	坐禅	晩課	薬石	夜坐	開枕
3:30	3:50	5:00	7:00	8:30	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	16:00	17:00	19:00	21:00

参加費 ○坐禅体験(3名まで1,000円~)  
○写経(1,000円)30~80分

申込み 永平寺  
福井県吉田郡永平寺町志比5-15  
☎0776-63-3102



永平寺・精進料理(左)。坐禅体験(右)

見どころ紹介【2日目】

吉崎御坊 蓮如上人記念館  
(福井県あわら市)

蓮如は、室町時代の浄土真宗の僧で本願寺中興の祖。文明3年(1471)、蓮如は北潟湖畔の吉崎山に北陸における布教拠点「吉崎御坊」を建立しました。記念館では蓮如を偲び、浄土真宗の世界を学ぶことができます。  
☎吉崎御坊 蓮如上人記念館 ☎0776-75-2200



全国子供歌舞伎フェスティバルin小松  
(石川県小松市)

小松の祭礼「お旅まつり」にあわせ、毎年5月にこまつ芸術劇場うららにて開催。県外の子供歌舞伎を招待し地元小松の子供歌舞伎との競演が見られます。  
☎小松市文化創造課 ☎0761-24-8177

東尋坊 (福井県坂井市)

乱暴あるいは恋愛関係で恨みを買ってここから突き落とされたといわれる平泉寺(勝山市)の僧の名前が由来とされます。これほど規模の大きな輝石安山岩の柱状節理は大変珍しく、国の天然記念物および名勝に指定されています。



那谷寺 (石川県加賀市)

石川県小松市にある高野山真言宗別格本山。創建は奈良時代にまでさかのぼる古刹ですが、南北朝時代に戦乱に巻き込まれ荒廃。近世に入って加賀藩主前田利常が再建しました。  
☎那谷寺 ☎0761-65-2111



見どころ紹介【3日目】



ずいりゅうじ  
**瑞龍寺**  
(富山県高岡市)

高岡城を築いた高岡開祖で加賀藩二代藩主前田利長の菩提寺。江戸初期・禅宗の典型的な建物群が見られ、仏殿、法堂、山門は国宝に指定されています。また、瑞龍寺と前田利長墓所を東西に結ぶ参道は八丁道と名づけられ、石灯笼が並び、松並木と白い石畳が続いています。

☎瑞龍寺 ☎0766-22-0179

やまちょうすじ  
**山町筋** (富山県高岡市)

明治33年(1900)の高岡の大火の後、防火建築物である土蔵造りが建てられ、今日のような重厚な街並みができあがりました。



かなやまち  
**金屋町** (富山県高岡市)

鋳物産業は火災の危険があったため、千保川を挟んで高岡城下町と向かい合うここに鋳物師が集められ、金屋町ができました。今も千本格子造りの家並みが残り、銅器を扱う店も多く街歩きが楽しいところです。

すがの  
**菅野家住宅** (富山県高岡市)

菅野家は高岡の代表的な商家で、江戸時代末から明治にかけて廻船の興隆に伴い財産を築き、高岡銀行や高岡電灯を設立しました。外観は黒漆喰仕上げで太い出桁で軒を支え、2階の窓に観音開きの土戸を備えるなど、全体的に重厚なデザインとする一方で、細部の要所には細かな装飾を施し華やかな印象を与えています。見事な仏壇は必見です。

☎菅野家住宅 ☎0766-22-3078



菅野家住宅(左)。菅野家の仏壇



**高岡大仏**  
(富山県高岡市)

歴史の上で奈良、鎌倉につぐ日本3大仏に数えられます。明治33年(1900)の大火で消失した後、銅器製造技術の粋を集め、30年の歳月をかけて完成しました。



ピックアップ! 北陸の食

**ごま豆腐** (福井県永平寺町)

永平寺では食事も坐禅や読経などと同様の修行と位置づけます。貴重なタンパク源となる「ごま」を使い、手間ひまかけて作るごま豆腐は、もてなしの心を象徴するご馳走。永平寺の門前には名物のごま豆腐を売る店が軒を連ねます。



**あわら温泉屋台村** (福井県あわら市)

えちぜん鉄道あわら湯のまち駅のロータリー前に、手打ちそばやおでん、家庭料理など9軒が集まった屋台村があります。営業はほとんどが夜だけですが、地元の人と旅人の交流の場でもあり、あわら温泉に泊まったらずいぶ訪れたい新名所です。

ピックアップ! 北陸の温泉

あづ  
**栗津温泉** (石川県小松市)

加賀温泉郷のひとつ。開湯1300年とされる歴史の古い温泉で、白山を開山した泰澄大師が白山権現のお告げによって発見したと伝わります。ここにある旅館「法師」は「世界一歴史のある宿泊施設」としてギネスブックに登録されています。どの宿も自家源泉を持ち、血液循環が原因の慢性病である神経痛、高血圧症、動脈硬化症など効果があるといわれる質の良いお湯が自慢です。

☎栗津温泉観光協会 ☎0761-65-1834



栗津温泉のシンボル・泰澄大師の像



世界で最も歴史がある宿「法師」



モデルコース②  
生活にとけこんだ仏教行事に  
楽しみながら親しむ

都市暮らしで宗教行事になじみが少ない女性グループに、生活にとけこんだ仏教行事にふれ、受け継がれる生活文化の良さを体験してもらうコースです。

日程	行程	食	宿泊先
1日目 富山	(JR高岡駅→約40分→JR福光駅) (JR福光駅からタクシーまたはバスで約5分) <b>福光美術館、棟方志功記念館「愛染苑」</b> (JR福光駅→約15分(タクシー/バス)→井波) <b>瑞泉寺参拝・彫刻の町井波散策</b> (井波→約60分(バス)→利賀) <b>着地型 南砺市のおばあちゃんたちに報恩講料理を習おう</b>	報恩講料理	南砺市 利賀村
2日目 石川	(利賀→約60分(バス)→井波→約50分(バス)→JR高岡駅→約25分→JR金沢駅) (城下まち金沢周遊バス ※12分間隔で運行 一日乗り放題:大人500円) <b>卯辰山山麓寺院群(観音院など)散策</b> または <b>金沢市立安江金箔工芸館(金沢仏壇など)見学</b> or <b>金沢21世紀美術館 見学</b> (JR金沢駅→約30分(特急)→JR加賀温泉駅)	加賀能登の 食材を 活かした フレンチ	片山津温泉
3日目 福井	(JR加賀温泉駅→約20分(特急)→JR福井駅→約30分(バス)→大安寺門前) <b>着地型 法話・坐禅体験 一大安禅寺一</b> (JR 福井駅→帰路)	油揚げ(土産)	—

着地型 南砺市のおばあちゃんたちに報恩講料理を習おう

内容	北陸に伝わる報恩講料理を習い生活に根づく信仰を体験
参加費	1泊3食 12,000円～ (H22/11/18～11/30) ※平成22年実施
申込み	利賀瞑想の郷 南砺市利賀村上島 ☎0763-68-2324



報恩講料理教室

《イチ押しポイント》

◆浄土真宗では、親鸞聖人の命日にその遺徳を偲んで営む仏事を「報恩講」といい、真宗王国といわれる北陸では、厚い信仰のもと、命日の前後になると各地で報恩講のお勤めが行われます。「ほんこさま(富山)」「ほんこさん(石川・福井)」「おこさま(福井)」とも呼ばれ、法会後に精進料理がふるまわれます。精進料理の御膳には、地域色豊かな食材を中心に、その土地の伝統的な料理がならび、「報恩講料理」として今も北陸の地に連綿と受け継がれています。近年、報恩講料理を楽しむ行事の開催や、富山の五箇山や福井の大野などで報恩講料理を提供する民宿・旅館が少しずつ増えています。



利賀瞑想の郷

着地型 法話・坐禅体験 一大安禅寺一

内容	福井藩主松平家の永代菩提所として建てられた臨済宗の大安禅寺では、和尚による法話や坐禅体験、ミニ修練など、禅を分かりやすく説いてくれます。四季の素材を活かした禅寺の本格精進料理もいただけます。
参加費	◎新命和尚の法話(1日2回・要予約・最少催行10名) 法話拝観料1,000円 ◎金曜坐禅会(毎月第2・第4金曜日) 参加費400円 ◎ミニ修練(要予約・10名以上・約2時間) 参加費ひとり2,000円 ◎精進料理(要予約・最少催行10名) 3,150～6,300円
申込み	大安禅寺 福井市田ノ谷町21-4 ☎0776-59-1014



新命和尚の法話

精進料理



ミニ修練

見どころ紹介【1日目】

福光美術館 (富山県南砺市)

棟方志功が第二次世界大戦中に旧福光町に疎開していたことから、棟方志功の作品を中心に、石崎光瑠や松村秀太郎など郷土ゆかりの作家の作品が展示されています。

富山県南砺市立福光美術館 ☎0763-52-7576



福光美術館 常設展示場



緑に囲まれた福光美術館



愛染苑

鯉雨画斎

棟方志功記念館「愛染苑」(富山県南砺市)

棟方志功が福光で過ごした6年8ヶ月の間に制作した作品を中心に展示。隣接する棟方志功旧住居「鯉雨画斎」の側には生き生きとした天女や菩薩が描かれてあり必見です。棟方志功は福光で浄土真宗の世界にふれ、仏を題材にした名作の数々を遺しました。

富山県南砺市立棟方志功記念館「愛染苑」 ☎0763-52-5815

瑞泉寺・彫刻の町井波散策 (富山県南砺市)

瑞泉寺は明徳元年(1390)、本願寺第5代緯如上上人開基。夏の伝統行事、聖徳太子絵伝の絵解き説法で有名です。3度の火災に遭いましたが北陸有数の大伽藍として再建。各所の彫刻は井波彫刻の原点ともいわれます。また、その門前には欄間や獅子頭・天神様など井波彫刻の作品を扱うギャラリーや工房が集まり、彫刻の町として知られています。



瑞泉寺山門



井波彫刻総合会館

見どころ紹介【2日目】



蓮昌寺



西長石

四万六千日(観音院)



卯辰山山麓寺院群 (石川県金沢市)

ひがし茶屋街から卯辰山山麓にかけて、「心の道」と名づけられた曲がりくねった小路に53の社寺が点在し、信仰が息づく金沢の暮らしを肌で感じることができる絶好の散歩コースがあります。そのひとつ、卯辰山の入口に位置する観音院では、年に一度の「四万六千日」にご本尊が御開帳され、この日に買ったとうきびを家の軒先につるしておく、家内安全や商売繁盛など、さまざまな功德があるといわれています。

石川県金沢市観光協会 ☎076-232-5555

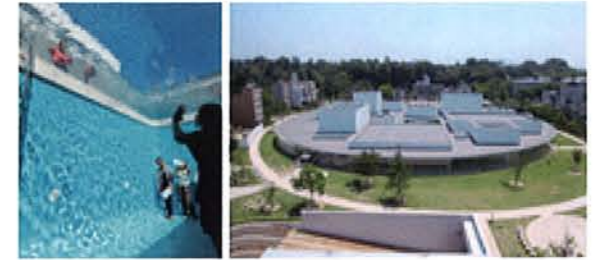
金沢市立安江金箔工芸館 (石川県金沢市)

国内で生産される金箔のほとんどが金沢で作られています。金箔職人だった故安江孝明氏が「金箔職人の誇りとその証」を後世に残したいとの思いから、私財を投じて金箔にちなむ美術品や道具類を収集・展示したことが始まり。平成22年秋にはひがし茶屋街近くの東山に移転し、装いを新たにしました。

石川県金沢市立安江金箔工芸館 ☎076-251-8950



金箔技術振興のための研究所も設置されている



レアンドロ・エルリッヒ「スイミングプール」(左)。まちに開かれた円形デザインの美術館(右)

金沢21世紀美術館 (石川県金沢市)

まちに活き、市民とつくる、参画交流型という新しいコンセプトの美術館として世界中からも注目されています。難解と思われるがちな世界最先端の現代アートをすべての人に親しみやすく伝えることで、アートのすそ野を広げています。

石川県金沢市立21世紀美術館 ☎076-220-2800

ピックアップ! 北陸の食

報恩講料理 (富山県南砺市)

浄土真宗では、親鸞聖人の命日にその遺徳を偲んで営む仏事を「報恩講」といい、法会後に仕出される精進料理が「報恩講料理」です。各地方によって報恩講料理の品々に違いがありますが、富山県五箇山では「五箇山豆腐と山菜の煮しめ」、砺波地方では「いとこ煮」が欠かせません。近年では地域の食文化でもあるこの料理を伝え残そうと、これを提供する民宿や旅館も少しずつ増えています。



能登牛フィレ肉のロッシュニペリゴール風(左)。モダンなダイニング(右)



報恩講料理 (イメージ)

加賀能登の食材を活かしたフレンチ (石川県金沢市)

フランス・リヨン郊外で44年間にわたり三ツ星に輝き続ける名店「ポール・ボキューズ」。その伝統を受け継ぐのが大正時代に建てられた重厚なレンガ造りの旧県庁舎「しいのき迎賓館」にある「ジャルダン ポール・ボキューズ」です。リヨンと同様、新鮮で豊かな食材に恵まれた金沢ならではのフランス料理を堪能できます。

石川県金沢市立21世紀美術館 ☎076-261-1161

ピックアップ! 北陸の温泉

片山津温泉 (石川県加賀市)



足湯「えんがわ」

柴山湯

加賀温泉郷のひとつ、柴山湯湖畔にあって、能登の和倉温泉と同じく塩辛いお湯が特徴。総湯(共同浴場)などで販売するほかに塩味がする温泉玉子が人気。柴山湯は弁財天と竜神を祀るうきうき弁天(浮御堂)が浮かび、大噴水や4~10月は屋形船も運航されます。雪と氷のことが学べる「中谷宇吉郎雪の科学館」も湖畔にあります。

石川県加賀市片山津温泉観光協会 ☎0761-74-1123

## 第四章

## 自然と人が織りなす心象的な雪景色

“北陸は雪国”。これはいうまでもないことかも知れませんが、雪の少ない地方の皆さんにとって、この「雪国」という響きに旅情をかき立てられるという方も多いでしょう。

でも、実際に雪国に住む者にとっては、雪は少々厄介な存在でもあります。北陸の冬は、それほど寒くありません。そのため湿気の多い雪が降ります。重たい雪がたっぷりと積もりますので、屋根の雪おろしも家の周りの雪かきも大変な重労働です。兼六園の冬の風物詩として知られる「雪吊り」は、よく観光用の飾りと勘違いされますが、そんな重たい雪で庭木の枝が折れないように枝を吊っているもので、この地方では一般の家庭や街路樹でもよく見られます。

豪雪地帯の続く日本海側でも、大陸沿岸からの距離が長く、朝鮮半島の地形の影響もあって、特に新潟県から福井県にかけての山間部は雪が深く、「日本一の豪雪地帯」といわれます。

北陸各県の共通の県民性として「辛抱強い」ということが挙げられますが、これを培ってきたのが雪の中での暮らしだといわれます。しかし、北陸の人々は雪にただじっと耐えてきたわけではありません。実は雪とうまく折り合いを付け、さらにそれを巧みに利用してきました。



昭和56年の豪雪で1階が雪に埋もれた今庄宿(撮影:坂野進 提供:北善商店)

## たくさん積もる雪を利用してきた先人たちの智恵

福井県内で屈指の豪雪地帯・南越前町の今庄は、北陸街道や北国街道を西から北上して北陸に入った最初の宿場町として栄えました。山に積もった大量の雪がけい石岩盤層を潜り抜け、酒造りに最適な中性の超軟水となって豊富に湧き、この水と宿場という地の利も活かし、今庄では古くから酒造りが盛ん。今もJR今庄駅からすぐの旧北陸街道沿いには、4軒の造り酒屋があります。

そのうちの1軒、蔵人自らが杜氏も務める北善商店を訪ねました。十代目当主、北村啓泰さんによると、外気温が2~3度、蔵の中が5~6度という条件が低温発酵させる北陸流の酒造りには最適で、雪が降っていると夜間の気温は安定し、雪があれば日中晴れても気温上昇が抑えられ、そんな最適な条件が保たれるそうです。気温が上下すると酵母がヘタっていい酒ができないといい、さらに湿度も保てる豪雪地帯は、酒造りに適した場所なのです。

「寝る前、夜空を見上げて星が瞬こうものなら、放射冷却で冷え込みますから、気が気でありません。でも、雪が降っていると安心して眠れますよ」と北村さんは話します。



北善商店の冬季限定「一番蔵出し」や代表銘柄など 米を蒸す湯気が立ち上る冬の酒蔵(左)。北村啓泰さん(右)

電気冷蔵庫など無かった時代、夏に氷を使うことはごく一部の特権階級だけの贅沢でした。「氷室」や「雪室」を作って氷や雪を貯蔵し、夏でも氷を口にしたり、食料を冷やして貯蔵したり、さらに熱が出たときに体を冷やしたりと、誰でもとはいきませんでした。北陸ではそんな贅沢を比較的享受しやすかったようです。

加賀藩では「氷室の節句」(陰暦の6月1日)にあわせて氷室を開き幕府へ氷を献上していました。その氷が無事に江戸に届くことと、無病息災を祈りながら庶民が食したのが「氷室まんじゅう」です。その後、氷室開きは一時廃れてしまいましたが(昭和61年から湯涌温泉で復活)、面白いことに「氷室まんじゅう」を食べる慣わしは金沢を中心に今も根づき、コンビニでも買うことができます。



兼六園の雪景色(左)。氷室仕込み(右上)。今は7月1日に食べられる氷室まんじゅう(右下)

日本の原風景は雪との共存共栄のスタイルでもあった

北陸で、最も雪景色が似あう暮らしの風景として多くの人が思い浮かべるのは、五箇山の合掌集落でしょう。合掌造りの急傾斜の屋根裏は幾層にもなり、ここではかつて養蚕<sup>ようさん</sup>などが行われていました。また、屋内では和紙作りや、床下では加賀藩の命を受け、幕府に隠れて煙硝<sup>えんしゅう</sup>(塩硝)作りも行っていました。合掌造りの家々は、人の住まいだけでなく、家内工場としても機能し、雪に囲まれ静かな銀世界の集落の家中では、人々がせわしなく働いていたのかもしれません。

五箇山は今も和紙の産地として知られ、雪を活用した「雪さらし」も東中江和紙加工生産組合の手で復活しました。五箇山和紙の主原料は楮<sup>こうぞ</sup>という木の樹皮で、これを雪の上に並べてさらすことで、樹皮が漂白され、繊維が柔らかくなって上質な和紙ができます。五箇山に限らず雪国の和紙の産地では日常的な光景でしたが、今は薬品などで代用するところがほとんどで、五箇山でもここでしか見られなくなりました。和紙は「寒すき」といって、冬にすいたものが一番質が良く、五箇山では寒すきの様子を見学することはもちろん、自らが体験することもできます。



雪に埋もれた世界文化遺産・相倉合掌集落(南砺市)



楮の樹皮をはぐ(左)。はいだ樹皮を雪にさらす(中)。塩硝のことを詳しく展示する菅沼集落の「塩硝の館」(右)

今庄のそば道場ではそば打ちが体験できる(左)。今庄そばの醍醐味はこのおろしそば(右)



冬に訪ねてこそ分かる雪国の自然の魅力

話を今庄に戻しましょう。ここはそば処としても、そば通には知れ渡っています。かつて北陸本線にSLが走っていた頃、峠越えを控えて今庄駅では長い停車時間があり、乗客は待ち時間に駅そばを食べるのを楽しみにしていたそうです。そのそばが評判を呼び、全国に知られるようになりました。昭和37年(1962)に北陸トンネルが開通して駅のそば屋は無くなりました(福井駅へ移転)が、旧今庄町内には、県内産のそば粉にこだわり、素朴で風味のよい今庄そばを出す店が6軒もあります。

もともと山間のやせた土地が多いここでは、昔から焼畑<sup>やきはた</sup>でそばが作られ、普段はそばがきにして食べ、正月やお祭り、来客があったときなどの特別な日はそば(そば切り)を作ったそうです。つなぎする自然薯<sup>じかじい</sup>は春になると芽が出て使えなくなるため、往時、そばは冬だけの楽しみでした。「囲炉裏にかけられた鉄瓶でそばをさっと湯がき、熱々のまま、冷たい大根おろしと自家製のたまりしょうゆをかけて食べました。熱い麺に辛味大根がよくあい、体が温まりました。出汁をとったり、鰹節をのせたりする今のおろしそばとは違いましたね」とは、今庄観光協会の会長で自らも「今庄 そばの里」を経営される寺田和義さん。囲炉裏端でしんしんと積もる雪を眺めながらいただくそばは、寺田さんでなくても誰もが懐かしいと感じる日本の原風景につながります。自らそば打ちもするという造り酒屋の当主・北村さんも、「そばと酒の相性は抜群。そばをアテ(つまみ)にして一杯やるのが楽しみ」といい、今庄の人たちはそばの話題になると話が尽きません。

今庄に限らず、北陸の山間部は大抵、うまい酒とうまいそばがあります。酒どころならではの冬季限定しぼりたて生酒を、風味の良い新そばといただく——。窓の外に降り積もる雪を眺めながら。しっばりと雪を楽しみたい大人におすすめしたい北陸の冬です。



今庄駅構内にあるSL時代の名残を留める建物の脇を大坂行き「サンダーバード」がすり抜ける







モデルコース①  
雪景色の自然と戯れる  
雪国ならではの休日を満喫!



白山まるごと体験教室かんじきハイキング

ウィンタースポーツ、アウトドアが大好きなファミリーに、冬山を歩くハイキングなどを通じて冬の北陸を楽しんでもらうコースです。

日程	行程	食	宿泊先
1日目 福井	(北陸自動車道福井北IC・丸岡ICから約35分) 福井県立恐竜博物館 → クロスカントリースキー (勝山市→約60分→一里野温泉)	ソースかつどん (昼)	一里野温泉
2日目 石川	(一里野温泉→約5分→白山自然保護センターブナオ山観察舎) 着地型 白山まるごと体験教室かんじきハイキング または 中谷宇吉郎 雪の科学館 or 柴山湯 白鳥観察 or かまくらまつり (ブナオ山観察舎→約50分→金沢森本IC→約20分→砺波IC→約15分→庄川温泉郷)	白山百膳	庄川温泉郷 or 城端桜ヶ池 クアガーデン
3日目 富山	(庄川温泉郷→約40分→富山市) 富山市ファミリーパーク [冬もやっぱりファミリーパーク] 冬ならではの動物観察 または 田尻池 白鳥観察 or 第18回 ザ☆雪合戦 なんと2011 (富山市→帰路)	紅ずわいがに (冬季) or 利賀そば	—

(このコースは自動車利用です)

着地型 白山まるごと体験教室かんじきハイキング

内容	ブナオ山観察舎周辺で、かんじきを履いて冬の山を歩く日帰りハイキングです。雪上を歩きながら、雪遊びや鳥・動物の足跡、植物の冬芽なども観察し、冬の自然を体験。
所要時間	約5時間
日時	平成23年2月20日(日)10~15時 白山市尾添(一里野)
参加費	無料
対象	小学生以上
申込み	白山自然保護センター 石川県白山市木滑ヌ4 ☎076-255-5321



★上記イベント以外にも「ブナオ山観察舎」では12~4月の土・日・祝日に10~15時の間で1時間程度かんじきをはいて雪の中の自然を観察する「ミニ観察会」を実施(予約不要)

見どころ紹介【1日目】

福井県立恐竜博物館(福井県勝山市)



恐竜に関する国内最大級の博物館。銀色に光るドームの内部にある展示室は、「恐竜の世界」「地球の科学」「生命の歴史」の3つのゾーンから構成されています。40体もの恐竜骨格をはじめ、千数百もの標本や大型復元ジオラマなどを展示。福井県勝山市で発見された恐竜を展示する「福井の恐竜コーナー」もあります。

福井県立恐竜博物館 ☎0779-88-0001

クロスカントリースキー(福井県勝山市)

恐竜博物館に隣接するかつやま恐竜の森では、積雪時期にクロスカントリースキーやスノーシューによる雪上散歩が体験できます。

かつやま恐竜の森 ☎0779-88-8777



土日祝の午後に行うスノーモービルで引っ張るタイヤソリ

見どころ紹介【2日目】

中谷宇吉郎 雪の科学館  
(石川県加賀市)



世界で初めて人工的に雪の結晶を作り出した中谷宇吉郎の記念館。童心に戻って実験や氷のペンダント作りも楽しめます。  
 中谷宇吉郎 雪の科学館 ☎0761-75-3323

見どころ紹介【3日目】

富山市ファミリーパーク  
(富山県富山市)



里山の自然も活かし、郷土の動物たちを中心に生態展示に力を入れる動物園。雪景色の里山で動物たちとのふれあいを楽しんでください。  
 富山市ファミリーパーク ☎076-434-1234

田尻池白鳥観察  
(富山県射水市)



11月～3月の頃、大陸から越冬のために渡ってきたオオクチョウやコハクチョウなど見ることができます。北陸道呉羽PAからも歩いて行けます。

瀬波かまくらまつり  
(石川県白山市)



2月11日に開催するかまくら作りのイベント。終了後も1ヵ月ほど見物できます。  
 白山市 ☎076-255-5998

柴山潟周辺白鳥観察  
(石川県加賀市)



11月～3月の頃、越冬のために渡ってきた白鳥が片山津温泉の近くの田んぼで見られます。



第18回 ザ☆雪合戦なんと2011  
(富山県南砺市)



2011年1月30日に南砺市のタカンボースキー場で開催されます。雪上の熱いバトルは見ても参加しても楽しい。  
 南砺市観光課 ☎0763-23-2019

ピックアップ! 北陸の食

ソースカツ丼  
(福井県全体)



一般的にカツ丼というと、多くの人が揚げたカツを卵でとじたものを想像します。しかし福井では、カツ丼といえばソースで食べるこのソースカツ丼が一般的。その歴史は大正時代にまでさかのぼるとされ、県内各地で食べることができます。

白山百膳  
(石川県白山市)



日本三名山・白山麓には、おいしい水やお米、山菜、郷土料理など、様々な恵みがあります。地元各店ではそんな地域の素材を活かしたオリジナルの御膳を用意。「白山百膳」ののぼり旗が目印です。  
 白山商工会 ☎076-254-2828

紅ずわいがに  
(富山県全体)



ズワイガニよりも深海にすみ、赤みが強いのが特徴。鮮度にとても左右されるため、獲れたてをぜひ味わってください。水揚げのピークは12月から1月、6～8月は禁漁期間となります。

ピックアップ! 北陸の温泉

一里野温泉 (石川県白山市)



険しい山あいであって一里ほどの平らな野があることから一里野と呼ばれるようになりました。ここには設備の整ったスキー場があります。源泉は5kmほど山奥にあり、高温で量も多く、ここまで引いてくると入浴に適した温度となります。写真の温泉センター「天領」なら気軽に立ち寄り湯が楽しめます。  
 白山市観光情報センター ☎076-273-4851

庄川温泉郷 (富山県砺波市)

白山より流れる庄川沿いに温泉宿が点在。その一軒、「三楽園」には、自家源泉の温泉成分を濃縮させた「温泉泥」を作り、本場イタリアのファンゴセラピーに習った、日本で初めての本格的ファンゴ施設があり、美肌だけでなく健康な身体づくりもできます。

三楽園 ☎0763-82-1260



モデルコース②

めったに出あえない  
感動の冬景色を撮る

冷え込んだ真冬の朝、海から水蒸気が立ち上る「けあらし」という現象が見られることがある(氷見市 松田江の長浜)



めったに見られませんが、出あえたときの感動は筆舌尽くしがたい景色をカメラに納める、ネイチャーフォト愛好家の運試しコースです。

日程	行程	食	宿泊先
1日目 福井	(JR福井駅→約70分(バス)→越前海岸) <b>越前海岸 波の花 越前岬水仙ランド</b> [OP] 半日観光バス「越前すいせん号」(JRあわら温泉駅発) 越前がにの釜揚げ・東尋坊・越前水仙ランド見学 または 東尋坊	越前がにの釜揚げ・ 甘えび(冬期) or 水ようかん (土産・冬季限定)	あわら温泉
2日目 石川	(JR芦原温泉駅→約40分(特急)→JR金沢駅) <b>兼六園 雪吊り、金沢城公園、長町武家屋敷跡 こもがけ 近江町市場散策</b> または 雪だるまつり(白峰・桑島) (JR金沢駅→約25分→JR高岡駅→約30分→JR氷見駅)	海鮮丼 (写真は近江町市場)	氷見温泉郷
3日目 富山	<b>雨晴海岸から望む雪の立山連峰の日の出</b> または 冬の五箇山合掌造り集落 (JR氷見駅→約30分→JR高岡駅→帰路)	寒ブリ(冬期)	——

※[OP]はオプションプランの略です。

見どころ紹介【1日目】

越前海岸 波の花 (福井県福井市ほか)

冬の越前海岸などで見られる現象。波が岸に当たってできた気泡が積み重なり、強い北風にあおられて、波打ち際から空中へ飛び上がり、舞い降りる様子はとても幻想的です。



越前水仙 (福井県越前町、福井市ほか)

寒風が吹きさす真冬に、越前海岸では日本水仙の白く可憐な花が咲き乱れます。日本三大群生地のひとつとしてよく知られ、ミカンの芳香に似た甘く清楚な香りに包まれます。

東尋坊 (福井県坂井市)

柱状節理などの絶壁が約1kmも続く東尋坊は、国の天然記念物に指定された景勝地。特に日本海の荒波が打ち寄せる冬は豪快な風景に出あうことができます。風が強いので防寒着をお忘れなく。



半日観光バス

[OP] 「越前すいせん号」  
(福井県坂井市)

冬の日本海と日本一の越前水仙の大パノラマを満喫!! 芦原温泉駅発着でかに汁の試食や越前がにの釜揚げ見学、東尋坊も訪ねます。12月下旬～2月下旬の月・土・日・祝に運行。

圏京福バス ☎0776-54-3733  
◎所要時間/約4時間 ◎乗車料金/1,800円

見どころ紹介【2日目】

兼六園 雪吊り (石川県金沢市)

雪の重みによる枝折れを防ぐためにほどこされる雪吊りは、兼六園らしい冬の風物詩。霞ヶ池の畔、見事な枝ぶりの唐崎松の雪吊りが特に絵になります。最近は降雪量が少なく見事な雪景色はなかなか見られなくなりました。



金沢城公園 (石川県金沢市)

国の重要文化財に指定された石川門や復元された菱櫓・五十間長屋、河北門などが雪化粧した姿は趣があります。  
圏石川県金沢城・兼六園管理事務所 ☎076-234-3800

**長町武家屋敷跡 こもがけ**  
(石川県金沢市)

長町武家屋敷跡では、雪によって土堀がいたむのを防ぐこもがけが行われ、金沢の冬の風物詩としてこれを目当てに訪れる観光客も多いです。



**雪だるま祭り**  
(石川県白山市)

白山市白峰・桑島地区で毎年2月に開催されるイベント。住民が総出で家々の前に雪だるまを作り、夜はろうそくの火を点します。

白山市観光情報センター ☎076-273-4851

**見どころ紹介【3日目】**

**雨晴海岸からの日の出** (富山県高岡市)

義経伝説の残るこの風光明媚な海岸からは、屏風のようにそびえる立山連峰より昇る朝日を拝むことができます。さらに冷え込んだ朝、ここでも「けあらし」に出あうことがあります。

高岡市商業観光課 ☎0766-20-1301



**冬の五箇山合掌造り集落** (富山県南砺市)

豪雪に耐えられるよう、先人たちの英知が作り出した合掌造りの民家。雪に埋もれたこの季節が一番絵になります。写真の菅沼集落では2月にライトアップも行われます。

**ピックアップ! 北陸の食**

**越前がに** (福井県越前町、坂井市ほか)

福井で水揚げされたズワイガニは、「越前がに」と呼ばれ、脚につけられた黄色いタグがその証です。この時期、港や魚屋では獲れたてのかかに豪快に茹で上げるかきの釜揚げが見られ、もうもうと立ち上る湯気に食指が動かされるでしょう。



**甘えび** (福井県坂井市、敦賀市ほか)

底曳き網で獲る甘えびは冬の方が体が締まっておいしくなります。腹に青い粒状の子がある「子持ち」が最高級品。鮮度の良い甘えびを口に入ると、ほのかな潮の香りとまろやかさと甘味が広がります。

**水ようかん** (福井県全域)



水ようかんといえば、冷やして夏に食べるものですが、福井県では冬に食べるものとして定着しています。由来は諸説ありますが、別名、丁稚羊かんともいうように、奉公先からいただいた小豆を使ったからともいわれます。

**海鮮丼** (石川県金沢市)



金沢や県内などの港で水揚げされたばかりの魚介が所狭しと並ぶ金沢市民の台所・近江町市場。この名物といえば井からはみ出すほどネタをのせた「海鮮丼」。市場内にある料理店などで食べることができます。

**寒ブリ** (富山県氷見市)



寒ブリといえば氷見といわれるほど、そのおいしさがつとに知られます。脂が一番のった時期(11月~3月)に水揚げされた寒ブリは、刺身やしゃぶしゃぶはもちろん、アラを使ったぶり大根も絶品。

**ピックアップ! 北陸の温泉**

**あわら温泉** (福井県あわら市)

開湯は明治16年(1883)、「関西の奥座敷」としてにぎわってきた湯の町。あわら温泉には組合所属の旅館が19軒、約30名の女将、若女将がいます。また「湯めぐり手形」を購入すればあわら温泉各旅館などに3回まで入浴できます。

あわら市観光協会 ☎0776-78-6767



## 第五章

## 北陸の暮らしに根づく奇祭



ユネスコの無形文化遺産に記載された奥能登のあえのこと

北陸には1年を通して多彩な祭りがありますが、そのなかにはオーソドックスな祭りのほかに、「奇祭」と呼んでもよいようなユニークな祭りも少なくありません。

## 目に見えない田の神をもてなす「あえのこと」

農耕の国である日本はかつて、農作物の豊凶がいちばんの関心事でした。そのため全国各地に田の神に豊作を祈る祭りがありますが、石川県奥能登地方に伝わる「あえのこと」は仕事を終えた目に見えない田の神を我が家に迎えてもてなす一風変わった祭りです。

豊作を願い、収穫を感謝する多くの祭りが集落を単位に行われるのとは対照的に、「饗応の祭り」という意味を持つ「あえのこと」はそれぞれの家を単位に行われます。時期は家々によって異なるものの、通常は12月5日に田の神を家に迎え、翌年2月9日に家から送り出します。

「今日はあえのことでございます。長い間、土のなかでありがとうございました。お迎えに参りましたので、我が家までお出てください」

12月5日、<sup>かみし</sup>禊姿の主人が目に見えない田の神を実在する客のように遇し、我が家に案内します。

田の神は稲穂で目をつけて不自由と信じられているため、田の神の手をとった主人は家に向かう途中、折にふれて「ここに段差があります。気をつけてください」などと気遣うのです。その後、入浴を勧め、座敷に案内してご馳走の品々をひとつひとつ説明しながら接待していきます。この地で代々、あえのことを営む主人の一人はこう語っています。

「あえのことはやり方が決まっているわけではなく、それぞれの家の方法で行います。目に見えない神様を真剣にもてなす姿は客観的にパントマイムに見えるかもしれませんが、私は神様がまさにそこにいるという気持ちで接しています」

こうして家の奥座敷に逗留した田の神はそのまま年を越し、立春過ぎの2月9日の田の神送りで再び、田んぼへと帰っていきます。目に見えない神様を接待する一人芝居は現代人の目には奇異に映るかもしれませんが、しかし大切な心はきっと目に見えるでしょう。「あえのこと」はそんなことを私たちに語りかけてきます。

## 神様の接し方も地域によってさまざま

神輿は「神様の乗り物」です。丁寧に扱うものと考えがちですが、毎年7月、宇出津の八坂神社で行われる「あばれ祭り」は「あえのこと」とは対照的に神輿を荒々しく扱い、ついには壊してしまいます。

昔、この地で悪病が流行した時、京都から祇園の神を勧請して盛大に祭りを行ったのが始まりといわれています。祭り期間中、2基の神輿と数十基のキリコが早朝から深夜まで町中を練り歩き、最終日には担ぎ手が神輿を海や川、火のなかに投げ込んで暴れ回ります。

乱暴に扱われて神様は怒るのではないかと、思われる方もいるでしょう。しかし心配はいりません。祭りでは神様に思う存分暴れてもらい、心を鎮めてもらおうと考えられているからです。神様にとっては一種のストレス解消なのではないでしょうか。



7月第1金・土曜日に能登町宇出津地区で2日間にわたって行われるあばれ祭り





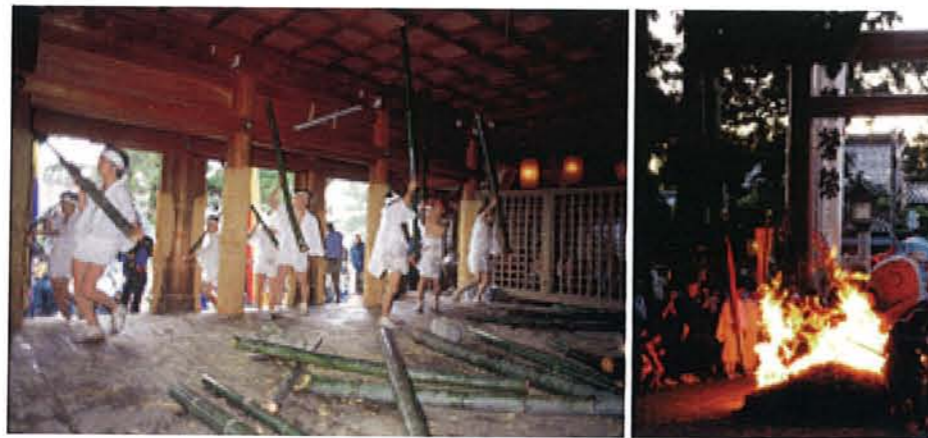
ごんごん祭りは県内各地の力自慢が参加し、1分以内に何回つけるかを競いあう(左・右上)。1月1日に加茂神社の新年慶賀祭として行われる鯛の読みあげ。行事が終わると、氏子全戸に鯛の切り身と饅餅が配られる(右下)

富山県氷見市の上日寺で4月に行われる「ごんごん祭り」では力自慢の人々が数十キロの丸太を担ぎ、1分間で何度鐘をつけるかを競いあいます。江戸時代、大干ばつで困った農民が雨乞い祈願をしたところ、ようやく雨が降り、鐘をつきあって喜んだのが起源といわれるお祭りです。人々の激しい鐘つきは喜びの表現なのです。

富山県や石川県の一部の地域では、娘を嫁がせた家が婚家に鯛を贈る鯛歳暮の風習がありますが、富山県射水市の加茂神社では元日、地区の人々から献納された鯛を切り分け、氏子家庭に配る「鯛分神事」を行います。成長するごとに名前を変える出世魚、鯛にあやかって1年の無病息災を祈る北陸らしい祭りです。

地域の歴史や文化を反映する奇祭の数々

福井県越前市では2月、大量のごほうを食べて豊作を祈る「ごほう講」が行われています。かつて年貢の取り立てに苦しむ農民が隠し田の収穫を喜んで年に一度、ごほうをおかずにご満腹になるま



石川県加賀市菅生石部神社で2月に開催される御願神事では、白装束の青年たちが約200本の青竹を石畳などにたたきつけて割りつく(左)。富山県射水市柳田神社で9月に開催される秋季例大祭では、獅子や神輿が燃え立つ中を勢よく駆け抜ける迫力満点の火渡りが行われる(右)

で食事を楽しんだのが始まりといわれています。

福井県美浜町で1月に行われる「日向の水中綱引き」は下帯ひとつの若者たちが水中で大綱を引き、綱を早く切ろうと競い合います。綱引きによって1年の漁の豊凶を占う風習から生まれたもので、普段は穏やかな町もこの日ばかりは熱気と興奮に包まれます。



真冬の1月15日に下帯ひとつの若者たちが水中で長さ40m太さ30cmもの大綱を切り合う日向の水中綱引きは300年の歴史がある(左上・右)。ごほう講は地域の男衆が紋付羽織袴の正装で集まって、神事ののち茶碗で豪快に酒を飲み交わし、ごほう料理と白飯をお腹いっぱいになるまで食べる(左下)

北陸にはそれぞれの地域の歴史や文化を反映する奇祭が盛りだくさんです。全国的には過疎化や高齢化から消滅の危機に瀕する祭りも少なくありませんが、北陸では時代が変わっても郷土を愛する人から人へ受け継がれ、日々の暮らしのなかで祭りが根づいています。

笑いあり、やさしさあり、そして漲るパワーもある、ぜひ、そんな珍しいお祭りを求めて北陸を訪ねてみてください。



小正月(2月6日)の夜、低い唸り声を上げて家の中に入り、茶釜のフタをたたきながら行儀の悪い子ども達を威嚇して歩くアッポッシャ。「アッポッシャ」とは方言で「餅が欲しい」という意味。福井市越前地区に伝わる民俗行事(左)。小浜市の法雲寺では6月30日から7月1日にかけて、すり鉢を伏せた底でもくさを焚き、その下を中風、難病除けを願いながらぐるぐるすり鉢ぐりが行われる(右)



モデルコース①

田の神まつり「あえのこと」と能登の文化にふれる



迫力満点の御陣乗太鼓

30代以上の女性を対象に、住民が協力して地域文化を残す姿を通し、都市で失われがちな人々と地域のつながりにふれていただくコースです。

日程	行程	食	宿泊先
1日目 石川	(JR金沢駅→約2時間(特急バス)→輪島) 石川県輪島漆芸美術館・輪島塗工房めぐり OP 沈金・蒔絵体験 または キリコ会館見学 or 千枚田見学 御陣乗太鼓実演	能登井(昼) or 海藻料理 いしる料理	輪島温泉
2日目 石川	輪島朝市 着地型 あえのこと実演(能登町) (輪島→約65分(特急バス)→和倉) (シャトルバス「わくたま号」※一日乗り放題1,000円にて JR和倉温泉駅→和倉温泉→道の駅のとじま・能登島ガラス工房・石川県能登島ガラス美術館→のとじま水族館) 石川県能登島ガラス美術館 OP 吹きガラス体験	焼き牡蠣・ 蟹刺し・焼き蟹 など	和倉温泉
3日目 石川	(JR和倉温泉駅→約60分→JR金沢駅) 金沢散策 (JR金沢駅→帰路)	—	—

※OPはオプションプランの略です。

着地型 あえのこと(ユネスコ無形文化遺産)実演

内容	あえのこと実演
場所	柳田植物公園内 合鹿庵(能登町)
実演日	毎年12月5日、2月9日

〈イチ押しのポイント〉

◆奥能登で行われる「田の神まつり」(収穫祭の一種)。毎年12月5日に「田の神迎えの行事」と2月9日に「田の神送り行事」が各戸ごとにしめやかに行われます。



見どころ紹介【1日目】

石川県輪島漆芸美術館(石川県輪島市)

輪島塗の産地として有名な輪島市にある、漆芸専門の美術館です。正倉院の校倉造をイメージとした特徴的な外観に、内部は吹き抜けの広々とした造りで、そこかしこに漆を用いた、漆芸の美術館ならではの雰囲気がかもし出しています。歴史ある輪島塗の紹介のほか、展示会を随時開催し、また、漆芸作家や作品の製作工程のビデオ鑑賞もできます。  
〒石川県輪島漆芸美術館 ☎0768-22-9788



キリコ会館(石川県輪島市)

キリコとは切り燈籠のことで、能登地方の夏秋の祭礼には欠かせないものです。館内では30本以上のキリコが立ち並び、いつでもお祭り気分を味わえるように展示されています。  
〒キリコ会館 ☎0768-22-7100



OP 沈金・蒔絵体験(石川県輪島市)

〒輪島工房長屋 ☎0768-23-0011  
(沈金)パネル:1時間半~2時間/大人2,500円  
箸:30分~1時間/大人1,500円  
(蒔絵)箸:30分~1時間/1,500円(送料別)



御陣乗太鼓(石川県輪島市)

輪島市名舟町に古くから伝わる太鼓です。毎年夏に行われる名舟大祭で見られるほか、「道の駅・輪島 ふらっと訪夢」にて実演されています。  
〒輪島市産業部観光課 ☎0768-23-1146



見どころ紹介【2日目】

輪島朝市(石川県輪島市)

物々交換を行ったことが始まりといわれており、千年以上も続く歴史ある朝市です。新鮮で季節感あふれる魚や野菜を販売しています。

☎輪島市朝市組合事務所 ☎0768-22-7653



石川県能登島ガラス美術館(石川県七尾市)

さまざまなガラスアートが楽しめるガラス芸術専門の美術館です。定期的なガラス作品の企画展や、ワークショップを開催しています。

☎石川県能登島ガラス美術館 ☎0767-84-1175



OP 吹きガラス体験(石川県七尾市)

☎能登島ガラス工房 ☎0767-84-1180  
◎所要時間/約15分 ◎料金/3,150円~



見どころ紹介【3日目】

寺町寺院群(石川県金沢市)

藩政期に一向一揆の防衛策として金沢市の寺町・野町に集められた寺院の総称です。「忍者寺」の異名を持つ妙立寺をはじめ、曹洞宗と日蓮宗を中心に70近くの寺院が立ち並んでいます。



にし茶屋街(石川県金沢市)

金沢に3つある茶屋街の一つで、藩政時代からの歴史と金沢の情緒を感じることができます。現在も料亭や芸妓置屋が軒を連ねており、独特の雰囲気を味わうことができます。

ピックアップ! 北陸の食

能登井(石川県奥能登全体)



食材、食器、箸に至るまで奥能登にこだわった井です。地場でとれた旬の魚介類や肉類、野菜などを使用しており、60を超えるお店でオリジナルの井が食べられます。使った箸は持ち帰ることができます。

焼き牡蠣(石川県鳳珠郡穴水町・七尾市)



「海のミルク」と呼ばれるほど栄養価の高い牡蠣は、鉄分やビタミン類のほか、旨味成分のグリコーゲンも含まれています。とれたての牡蠣を網の上で焼くと焼いて、とろけるようなおいしさを味わってください。

蟹刺し(石川県奥能登全体)



ぎっしりと身が詰まり、ぷりぷりとした歯ごたえのある冬の味覚の王者ズワイガニを食べるなら刺身がおすすめ。鮮度が良くないと食べることができない蟹刺しはとろりと甘く、いくらでも食べられるおいしさです。

ピックアップ! 北陸の温泉

輪島温泉(石川県輪島市)

能登の観光地のひとつ、輪島市にある輪島温泉。非常に良質の塩化物泉(ナトリウム泉)が豊富で、輪島温泉郷「湯楽里」(写真左)なら、誰でも無料で足湯が楽しめるほか、飲泉や手湯、ペット湯のコーナーもあります。

☎輪島市産業部観光課 ☎0768-23-1146



和倉温泉(石川県七尾市)

豊富な湯量を誇る良質な温泉が魅力の和倉温泉。ナトリウムやカルシウムを含む優れた泉質と薬効は高く評価されています。温泉卵を作れるコーナーがあり、塩分の強い温泉で作る卵はほんのりと塩味がついて、とてもおいしいです。

☎和倉温泉観光協会 ☎0767-62-1555





モデルコース②

無病息災を祈願する「すりばちやいと」と  
神秘の祭り「お水送り」



「お水送り」の大護摩を曲む僧侶

北陸で古くから行われている祭礼や年中行事などを通じ、北陸の人々が重んじる伝統的な生活や信仰心にあふれていただくコースです。

若狭神宮寺 2 3 若狭古刹拝観

日程	行程	食	宿泊先
1日目 福井	(JR鯖江駅から徒歩15分) 中道院 すりばちやいと (JR鯖江駅→約10分(特急)→JR敦賀駅→約60分→JR東小浜駅→約10分(タクシー)) 若狭神宮寺 お水送り	若狭ふぐ 若狭ぐじ 若狭がれい	小浜
2日目 福井	(小浜市コミュニティバスまたはタクシー利用) 若狭古刹(国宝明通寺、妙楽寺、多田寺等)拝観 または 三方五湖遊覧船 or NHK連続テレビ小説「ちりとてちん」ロケ地巡り or みなとつるが山車会館 OP めのう加工体験・若狭塗りの箸体験 (JR小浜駅→約60分→JR敦賀駅→帰路)	うなぎ(昼)	—

※OPはオプションプランの略です。

見どころ紹介【1日目】



すりばちやいと (福井県鯖江市)

毎年2月20日、3月2日に長泉寺町の中道院にて行われる加持の秘法。「御夢想灸」ともいわれおり、すり鉢型の護摩炉を頭にかぶって無病息災を祈願します。  
中道院 ☎0778-51-1870



若狭神宮寺および遠敷川(鶴之瀬)にて、毎年3月2日11~21時に行われる

お水送り (福井県小浜市)

奈良・東大寺二月堂のご本尊にお供えする間伽水を送る奈良時代から伝わる歴史的な行事です。「お水送り」は3月12日に奈良東大寺二月堂で行われる「お水取り」に先がけ3月2日に行われ、奈良と若狭が昔から深い関係にあったことを物語っています。  
※19時からの松明行列には、一般市民、観光客も手松明を購入して参加することができます。



見どころ紹介【2日目】

若狭古刹拝観 (福井県小浜市)



明通寺

征夷大将軍坂上田村麻呂によって創建されたと伝えられている古刹です。本堂と総高22mの三重塔は国宝に指定されています。  
明通寺 ☎0770-57-1355



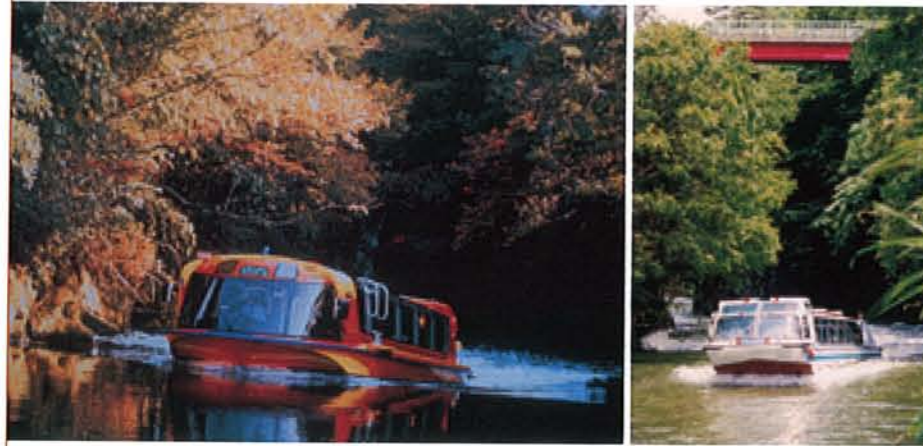
妙楽寺

奈良時代に行基が本尊を彫り、空海が再興したといわれます。本堂は若狭における最古の建造物とされ、本尊の千手観音菩薩立像と合わせて国指定重要文化財です。  
明妙楽寺 ☎0770-56-0133



多田寺

孝謙天皇の勅命により、勝行上人が創建したと伝えられています。厨子に安置された桧材の一木造の像3体はいずれも国の重要文化財に指定されています。  
明多田寺 ☎0770-56-0894



**三方五湖遊覧船**  
(福井県三方上中郡若狭)

淡水・海水・汽水とそれぞれ違う水質の三方五湖のうち、日向湖を除く4つの湖を巡ることができる遊覧船です。久々子湖岸を出発し、浦見川、水月湖、菅湖、三方湖を回ります。丸くカーブした大きな窓ガラスから、次々と移り変わっていく湖面と周囲の風景を楽しめ、中でも特に浦見川の険しい断崖が左右に迫る様は圧巻です。  
 株式会社三方五湖レークセンター  
 ☎0770-32-1161

**NHK連続テレビ小説『ちりとてちん』ロケ地巡り** (福井県小浜市)



平成19年10月～平成20年3月まで放送されたNHK連続テレビ小説『ちりとてちん』の舞台、小浜市。市街地と小浜湾を一望できる「ちりとてちんの丘」や京都の古い町並みに迷い込んだような、風情のある町並みが続く「三丁町」、八百比丘尼伝説にちなんで作られた人魚の像が配置された「マーメイドテラス」など、ドラマのロケ地を散策することができます。

☎若狭おばま観光案内所 ☎0770-52-2082

**みなとつるが山車会館**  
(福井県敦賀市)

4つの商店街で行われる敦賀の大型イベント敦賀まつりと、まつりで巡行する山車を展示する博物館です。実際に使われる山車6基を収納しており、そのうち3基をシアタースクリーンとともに展示しています。常設展示として「敦賀城主大谷吉継展示コーナー」があるほか、武者人形や実物の鎧なども見られます。  
 福井県敦賀市みなとつるが山車会館 ☎0770-21-5570



**OP めのう加工体験・若狭塗の箸体験** (福井県小浜市)

若狭おばまの歴史や伝統、文化の展示を通じて、食の魅力を紹介する博物館です。食文化体験ゾーン・食工芸ゾーン・温浴施設があり、食工芸ゾーンでは、伝統工芸を受け継ぐ匠たちによる、工芸品の製作実演やオリジナルの工芸品づくり体験ができます。

☎御食国若狭おばま食文化館 ☎0770-53-1000  
 ◎めのみがき(ペンダント又はキーホルダー作り)/800円(約30分・金具取り付け約5分)  
 ◎めのみがき(ペンダント又はキーホルダー作り)/800円(約40分) ◎箸の研ぎ出し(つや出し込み)/約40分 900円



**ピックアップ! 北陸の食**



**うなぎ** (福井県三方上中郡若狭町)

三方湖産のうなぎはその風貌から「口細青うなぎ」とも呼ばれ、一般的なうなぎに比べ口先が細く尖って表面がほのかに青いのが特徴です。淡水と海水が入り混じる水月湖との境界近辺の泥底に生息する沙蚕を食べて、脂のりがよく栄養価も高いです。

☎若狭三方五湖観光協会 ☎0770-45-0113



三方湖産のうなぎ(左)。五色の湖と呼ばれる三方五湖(右)

**御食国 若狭ふぐ・若狭ぐじ・若狭がれい** (福井県小浜市)

福井県・若狭は古来より日本海固有と呼ばれる冷水塊と、暖流の恩恵により魚介類が豊富な地です。若狭湾であがった魚は高級食材として地元はもちろん、宮廷のあった都へ供給する「御食国」と呼ばれていました。その御食国若狭を代表する食材が、「若狭ぐじ」です。若狭湾で捕れるアカアマダイのことで、和食の最高級食材といわれています。そのほかにも、「若狭がれい」や「若狭ふぐ」などが有名で、現在もさまざまな料理に活用されています。

☎御食国若狭おばま食文化館 ☎0770-53-1000



若狭がれい(左上)。若狭ぐじ(左下)。若狭ふぐ(右)

<b>JR金沢駅</b> 東京から 3時間50分 大阪から 2時間30分 名古屋から 2時間50分 和倉温泉へ 1時間 高岡へ 25分 加賀温泉へ 30分 輪島へ 1時間55分	<b>JR和倉温泉駅</b> 名古屋から 4時間20分 大阪から 4時間10分 輪島へ 1時間15分	<b>能登空港</b> 羽田から 1時間 輪島へ 30分 珠洲へ 1時間	<b>JR富山駅</b> 東京から 3時間10分 大阪から 3時間10分 名古屋から 3時間30分 高山から 1時間35分 黒部へ 20分 高岡へ 15分 金沢へ 40分
<b>小松空港</b> 羽田から 1時間05分 札幌から 1時間45分 仙台から 1時間10分 成田から 1時間20分 静岡から 55分 福岡から 1時間15分 那覇から 2時間10分 金沢駅へ 40分 福井駅へ 1時間	<b>JR福井駅</b> 東京から 3時間30分 大阪から 2時間50分 名古屋から 2時間 加賀温泉へ 25分 敦賀へ 35分	<b>富山IC</b> 東京から 4時間50分 大阪から 4時間15分 名古屋から 3時間 金沢西ICへ 40分	<b>富山空港</b> 羽田から 1時間 札幌から 1時間35分 富山駅へ 25分
<b>JR福井駅</b> 東京から 3時間30分 大阪から 2時間50分 名古屋から 2時間 加賀温泉へ 25分 敦賀へ 35分	<b>五箇山IC</b> 名古屋から 2時間30分 富山ICへ 45分 金沢西ICへ 45分	<b>金沢西IC</b> 東京から 5時間20分 大阪から 3時間40分 名古屋から 2時間40分 富山ICへ 35分 福井ICへ 50分	
<b>小浜西IC</b> 大阪から 2時間30分 敦賀へ 1時間30分	<b>JR敦賀駅</b> 大阪から 1時間25分 小浜へ 1時間05分	<b>福井IC</b> 東京から 6時間30分 大阪から 3時間 名古屋から 2時間 加賀ICへ 25分 敦賀ICへ 40分	

※ここに記載した所要時間は  
おおよその目安としてお考えください。

〈凡例〉

- ✈ 飛行機
- 🚄 特急列車
- 🚅 普通列車
- 🚌 バス
- 🚗 車
- 🕒 発地から要する時間
- 🕒 目的地まで要する時間



北陸の食

- ① 甘えび ..... 55
- あわら温泉屋台村 ..... 39
- うなぎ ..... 67
- おろしそば ..... 11,31
- 越前おろしそば ..... 31
- 越前がに ..... 55
- ② 海鮮丼 ..... 55
- 回転寿司 ..... 27
- 加賀能登の食材を活かした  
フレンチ ..... 43
- 加賀蕎麦コース料理 ..... 11
- 加賀野菜 ..... 31
- 金沢カレー ..... 15
- 蟹刺し ..... 63
- 寒ブリ ..... 55
- ごま豆腐 ..... 39
- ③ 鯖料理 ..... 27
- ソースカツ丼 ..... 51
- ④ 豆腐田楽 ..... 31
- トマトカレー ..... 19
- ⑤ 能登井 ..... 63
- 白山百膳 ..... 51
- 氷見カレー ..... 11
- 紅ずわいがに ..... 51
- 報恩講料理 ..... 43
- ボルガライス ..... 15
- ⑥ 水ようかん ..... 55
- 焼き牡蠣 ..... 63
- 焼き鳥 ..... 27
- ⑦ 薬膳料理 ..... 19
- ⑧ ルミゼドゥアッシュ  
辻口博啓美術館 ..... 15
- ⑨ 若狹ぶぐ・若狹ぐじ・若狹がれい 67

北陸の温泉

- 富山県**
- 宇奈月温泉 ..... 19
- 庄川温泉郷 ..... 51
- 峯山温泉 ..... 31
- 氷見温泉郷 ..... 11
- 石川県**
- 粟津温泉 ..... 39
- 一里野温泉 ..... 51
- 片山津温泉 ..... 43
- 山代温泉 ..... 15
- 山中温泉 ..... 19
- 湯涌温泉 ..... 31
- 和倉温泉 ..... 15,63
- 輪島温泉 ..... 63
- 福井県**
- あわら温泉 ..... 27,55

着地型プログラム

- 富山県**
- 地元ガイドと散策する金屋町、山町筋 ..... 9
- 地元ガイドによる瑞龍寺解説 ..... 29
- 富岩水上ラインと富山ライトレールで行く  
岩瀬の町並み歩き ..... 17
- 南砺市のおばあちゃんたちに  
報恩講料理を習おう ..... 41
- 石川県**
- あえのこと(ユネスコ無形文化遺産)実演 ..... 61
- 地元ガイドと散策する大野 ..... 9

見どころ紹介

- 富山県**
- 雨晴海岸からの日の出 ..... 54
- 池田屋安兵衛商店 ..... 18
- 魚津埋没林博物館 ..... 18
- 干支の文鎮の製作体験 ..... 10
- 塩硝の館 ..... 31
- 金屋町 ..... 38
- 廣貫堂資料館 ..... 18
- ザ☆雪合戦なんと2011 ..... 50
- 瑞龍寺・彫刻の町井波散策 ..... 42
- 端龍寺 ..... 31,38
- 菅野家住宅 ..... 38
- 錫製のミニ水盤(花器)製作体験 ..... 10
- 高岡大仏 ..... 39
- 田尻池白鳥観察 ..... 50
- 定置網見学・早朝魚市場見学、魚市場朝食 ..... 10
- 富山市ファミリーパーク ..... 50
- 福光美術館 ..... 42
- 冬の五箇山合掌造り集落 ..... 54
- 棟方志功記念館「愛染苑」 ..... 42
- 山町筋 ..... 38
- 石川県**
- 石川県能登島ガラス美術館 ..... 62
- 石川県輪島漆芸美術館 ..... 61
- 石川県立歴史博物館 ..... 26
- 卯辰山山麓寺院群 ..... 42
- お座敷体験 ..... 30
- 尾山神社 ..... 30
- 加賀の茶の湯体験 ..... 30
- 加賀友禅柄の彩色体験 ..... 27
- 加賀友禅の着付け体験 ..... 27
- 金沢・クラフト広坂 ..... 14
- 金沢城公園 ..... 30,53
- 金沢市立安江金箔工芸館 ..... 43
- 金沢市立中村記念美術館 ..... 14
- 金沢 21世紀美術館 ..... 43
- キリコ会館 ..... 61
- 兼六園 ..... 30
- 兼六園 雪吊り ..... 53
- 御陣乗太鼓 ..... 61
- 柴山湖周辺白鳥観察 ..... 50
- 成巽閣 ..... 26
- 瀬波かまくらまつり ..... 50
- 全国子供歌舞伎フェスティバル in 小松 ..... 37

- 七尾 一本杉通り散策(語り部処のある町) ..... 13
- 白山まるごと体験教室かんじきハイキング ..... 49
- まいどさんに何う前田家の姫君たちの暮らし  
一天徳院・成巽閣 ..... 25
- 福井県**
- 坐禅や作務、読経などの修行一永平寺 ..... 37
- 地元ガイドと巡る一乗谷朝倉氏遺跡 ..... 25
- 地元ガイドと巡るお江ゆかりの地  
一北の庄城址、西光寺 ..... 25
- 法話・坐禅体験一大安禅寺 ..... 41

- 沈金・蒔絵体験 ..... 61
- 寺町寺院群 ..... 62
- 天徳院 ..... 26
- 中谷宇吉郎 雪の科学館 ..... 50
- 長町武家屋敷跡 こもがけ ..... 54
- 那谷寺 ..... 37
- にし茶屋街 ..... 62
- 日本自動車博物館 ..... 18
- 能楽体験 ..... 10
- 箔一「箔巧館」 ..... 18
- 吹きガラス体験 ..... 62
- 水引体験教室 ..... 14
- 味噌汁作り体験・味噌蔵見学 ..... 10
- 山代温泉 古総湯 ..... 14
- 雪だるま祭り ..... 54
- ゆのくにの森 ..... 18
- 和菓子づくり体験 ..... 14
- 輪島朝市 ..... 62

- 福井県**
- 一乗谷朝倉氏遺跡 ..... 26
- 越前海岸 波の花 ..... 53
- 越前市五箇山地区の町並み散策 ..... 11
- 越前水仙 ..... 53
- 越前すいせん号(半日観光バス) ..... 53
- 越前和紙の里 ..... 14
- NHK連続テレビ小説「ちりとてちん」ロケ地巡り ..... 66
- お水送り ..... 65
- 紙漉き体験、和紙によるハガキ・うちわ・シェードランプ等製作 ..... 11
- 西光寺 ..... 30
- 北の庄城址 ..... 30
- クロスカントリースキー ..... 49
- 常高寺 ..... 26
- すりばちやいと ..... 65
- 東尋坊 ..... 37,53
- はたや記念館 ゆめおーれ勝山 ..... 19
- 手作りコースター体験 ..... 19
- 福井県立恐竜博物館 ..... 49
- 三方五湖遊覧船 ..... 66
- みなとつるが山車会館 ..... 66
- めぐねミュージアム ..... 14
- めのう加工体験・若狹塗箸の研ぎ出し体験 ..... 67
- 養浩館庭園 ..... 26
- 吉崎御坊 蓮如上人記念館 ..... 37
- 若狹古刹拝観(明通寺、妙楽寺、多田寺) ..... 65

## 北陸物語 vol.01

---

平成23年1月 第1版 第1印刷発行

発行元 **北陸経済連合会**

〒920-0981 金沢市片町2丁目2番15号(北国ビルディング4階)

TEL:(076)232-0472(代) FAX:(076)262-8127

E-mail:info@hokkeiren.gr.jp

【東京事務所】〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-8-1北陸電力㈱東京支社内

TEL:(03)3502-0471 FAX:(03)3502-0460